

3.1.4 生物環境

(1) 植物

1) 注目すべき植物種の状況

仙台市は、市域が海岸から奥羽山脈まで広がりを持ち、丘陵地帯は、暖温帯と冷温帯の間に位置する中間地帯と呼ばれる領域が広く占めているという特徴がある。そのため、暖地系及び寒地系の両方の植物がみられ、植物相が多様である。

調査範囲における注目すべき植物種の状況は、以下に示す文献①～③の掲載種より整理した。

文献①については、「保全上重要な種」に挙げられている種のうち、計画地が該当する地域区分「東部田園地域」（表3-56参照）における減少種のみを注目すべき種として抽出した。

文献②及び③については、表3-57に示す選定基準に該当するものを注目すべき種として整理した。ただし、文献②の掲載種のうち、植栽種は除外した。

整理した結果は表3-58(1)～(9)に示すとおりであり、注目すべき植物種は107科467種であった。

- ①「令和3年度 仙台市自然環境に関する基礎調査報告書」（令和4年2月、仙台市）
- ②「県民の森緑地環境保全地域学術調査報告書」（平成5年3月、宮城県）
- ③「加瀬沼緑地環境保全地域学術調査報告書」（平成13年3月、宮城県）

表3-56 注目すべき種（減少種）の地域区分

番号	地域区分	
1	山地地域	
2	西部丘陵地・田園地域	
3	市街地地域	
4	東部田園地域	
5	海浜地域(後背の樹林帯も含む)	

注) 計画地は、「4 東部田園地域」に該当する。

出典：「令和3年度 仙台市自然環境に関する基礎調査報告書」（令和4年2月、仙台市）

表3-57 注目すべき種の選定基準

選定理由		番号・記号	説明	
仙台市における保全上重要な種の区分	学術上重要種	1	仙台市においてもともと稀産あるいは希少である種。あるいは生息地・生育地がごく限られている種。	
		2	仙台市周辺地域が分布の北限，南限等の分布限界となる種。	
		3	仙台市が模式産地（タイプロカリティ）となっている種。	
		4	1, 2, 3には該当しないが，各分類群において，注目に値すると考えられる種（継続的に観察・研究されている個体群が存在する種など）。	
	注目種	減少種	EX	絶滅。過去に仙台市に生息したことが確認されており，飼育・栽培下を含め，仙台市では既に絶滅したと考えられる種。
			EW	野生絶滅。過去に仙台市に生息していたことが確認されており，飼育・栽培下では存続しているが，野生ではすでに絶滅したと考えられる種。
			A	現在ほとんど見ることができない，あるいは近将来ほとんど見ることができなくなるおそれがある種。
			B	減少が著しい，あるいは近い将来著しい減少のおそれがある種。
			C	減少している，あるいは存続基盤が脆弱で，生息・生育条件の変化によっては上位ランクに移行する要素を有する種。
			+	普通に見られる，あるいは当面減少のおそれがない種。
			/	もともと生息・生育しない可能性が非常に大きい。
			・	判断に資する情報がない。
		環境指標種	○	本市の各環境分類において良好な環境を指標する種。 (ビオトープやミティゲーションにおける計画・評価のための指標)
	レッドデータ等	国RL (「環境省レッドリスト2020」(令和2年3月、環境省)掲載種)	EX	絶滅
EW			野生絶滅	
CR			絶滅危惧ⅠA類	
EN			絶滅危惧ⅠB類	
VU			絶滅危惧Ⅱ類	
NT			準絶滅危惧	
DD			情報不足	
LP			絶滅のおそれのある地域個体群	
県RL (「宮城県の希少な野生動植物-宮城県レッドリスト2023年版-」(令和5年3月、宮城県)の掲載種)		EX	絶滅	
		EW	野生絶滅	
		CR+EN	絶滅危惧Ⅰ類	
		VU	絶滅危惧Ⅱ類	
		NT	準絶滅危惧	
		DD	情報不足	
要		要注目種		
天記・種保存法 (「文化財保護法」(昭和25年法律第214号)及び「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律(種の保存法)」(平成4年法律第75号)掲載種)		特天	『文化財保護法』(昭和25年法律第214号)における特別天然記念物	
		天	『文化財保護法』(昭和25年法律第214号)における天然記念物	
		国内	『絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律(種の保存法)』(平成4年法律第75号)における国内希少野生動植物	
		特一	『絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律(種の保存法)』(平成4年法律第75号)における特定第一種国内希少野生動植物種	
		特二	『絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律(種の保存法)』(平成4年法律第75号)における特定第二種国内希少野生動植物種	
		国際	『絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律(種の保存法)』(平成4年法律第75号)における国際希少野生動植物	

出典：「令和3年度 仙台市自然環境に関する基礎調査報告書」(令和4年2月、仙台市)

表3-58(1) 注目すべき植物種 (1/9)

No.	科名	種名	文献			選定基準					
						仙台市における 保全上重要な種			レッドデータ等		
			①	②	③	学術上 重要な種	注目種		国 R L	県 R L	種 保存 法 天記・
							減少種	環境 指標種			
1	ヒカゲノカズラ	スギラン	○			1	・		VU	CR+EN	
2	イワヒバ	ヒモカズラ	○			1	・				
3		イワヒバ	○			1	・	○			
4	ミズニラ	ミズニラ	○			1	A		NT	NT	
5	トクサ	イヌスギナ	○	○	○		B				
6	ゼンマイ	ヤシヤゼンマイ	○			1	・			NT	
7	コケシノブ	コウヤコケシノブ	○			1	・				
8		ホソバコケシノブ	○				・			NT	
9		ヒメハイホラゴケ	○			1	・				
10	サンショウモ	サンショウモ	○			1	A		VU	NT	
11	イノモトソウ	オオバノイノモトソウ	○			1, 2	C				
12		イノモトソウ	○			1, 2	・			NT	
13	ナヨシダ	ウサギシダ	○			1	・			VU	
14	チャセンシダ	コタニワタリ	○		○		・				
15	ヒメシダ	ヒメワラビ	○			2	B				
16	コウヤワラビ	イヌガンソク	○	○	○		C				
17		クサソテツ	○	○	○		C				
18	メシダ	シケチシダ	○			1, 2	・			要	
19		ホソバイヌワラビ	○				・			NT	
20		ヒロハイヌワラビ	○			2	・			CR+EN	
21		ヤリノホシケシダ	○			1	・			NT	
22	オシダ	ハカタシダ	○			1, 2	・			CR+EN	
23		リョウメンシダ	○	○	○		・	○			
24		オシダ	○	○	○		・				
25		オオクジャクシダ	○			1	・				
26		ニオイシダ	○			1, 4	・			VU	
27		オオベニシダ	○			1, 2	・				
28		ギフベニシダ	○			1, 2	・			CR+EN	
29		キヨスミヒメワラビ	○			1, 2	・			VU	
30		ナンタイシダ	○			1, 2	・			要	
31		アスカイノデ	○			2	・				
32		アイアスカイノデ	○		○	2	・				
33		イワシロイノデ	○	○	○		・				
34		イノデ	○			2	・				
35		サカゲイノデ	○		○		・				
36	ジュウモンジシダ	○	○	○		・	○				
37	ウラボシ	ヒメサジラン	○			1	・			VU	
38		エゾデンダ	○				・			VU	
39		イワオモダカ	○			1	・			VU	
40	マツ	モミ	○	○	○		・	○			
41		キタゴヨウ	○			4	・				
42	ハイマツ	○			1, 4	・	○				
43	イチイ	カヤ	○	○	○		・				
44	スイレン	オニバス	○			1	EX		VU	EX	
45	マツブサ	チョウセンゴミシ	○				・			CR+EN	
46	ドクダミ	ハンゲショウ	○				・	・		VU	
47	ウマノスズクサ	ウマノスズクサ	○				C			NT	
48		トウゴクサイシン	○				・	○			
49	モクレン	タムシバ	○	○			・	○			
50	クスノキ	ヤマコウバシ	○			1, 2	・				
51		オオバクロモジ	○	○	○		・	○			
52		シロダモ	○	○	○	2	+	○			

表3-58(2) 注目すべき植物種 (2/9)

No.	科名	種名	文献			選定基準					
						仙台市における 保全上重要な種			レッドデータ等		
			①	②	③	学術上重要な種	注目種		国 R L	県 R L	天記・ 種 保 存 法
							減少種	環境指標種			
53	サトイモ	ヒメカイウ	○			1	・		NT	CR+EN	
54		ミズバショウ	○	○			・	○			
55		ヒメザゼンソウ	○	○				C			
56	オモダカ	ヘラオモダカ	○	○			B	○			
57		サジオモダカ	○				B	○		NT	
58		アギナン	○				B	○	NT	VU	
59		ウリカワ	○		○		A	○		NT	
60		オモダカ	○				B	○			
61	トチカガミ	クロモ	○		○		A	○			
62		トチカガミ	○				B		NT	VU	
63		ヒロハトリゲモ	○				1	・		VU	VU
64		イトトリゲモ	○				1	A		NT	NT
65		ホッスモ	○					・			VU
66		トリゲモ	○				1	A		VU	CR+EN
67		ミズオオバコ	○				1	B		VU	VU
68		コウガイモ	○					A			VU
69	シバナ	マルミノシバナ	○				1	・	○	NT	CR+EN
70	ヒルムシロ	イトモ	○				1	B		NT	NT
71		エビモ	○	○	○			B	○		
72		コバノヒルムシロ	○					B	○	VU	VU
73		ヒルムシロ	○					B	○		
74		フトヒルムシロ	○					B	○		
75		カモガワモ	○					B	○		
76		センニンモ	○					B	○		VU
77		オヒルムシロ	○	○				B	○		
78		ホソバミズヒキモ	○					B	○		VU
79		ツツイトモ			○					VU	CR+EN
80			リュウノヒゲモ	○					・		NT
81	シュロソウ	ショウジョウバカマ	○	○				・	○		
82	サルトリイバラ	マルバサンキライ	○					・			VU
83	ユリ	カタクリ	○	○				B			
84		コオニユリ	○					B			
85		ミヤマスカシユリ	○				1	・		EN	VU
86	ラン	コアニチドリ	○				1	・		VU	CR+EN
87		エビネ	○				1	・		NT	VU
88		キンセイラン	○				1	・		VU	CR+EN
89		サルメンエビネ	○				1	・		VU	CR+EN
90		ユウシュンラン	○				1	・		VU	NT
91		キンラン	○	○			1	・		VU	VU
92		クゲヌマラン	○				1	・		VU	CR+EN
93		シュンラン	○	○	○			C	○		
94		コアツモリソウ	○				1	・		NT	VU
95		クマガイソウ	○				1	・		VU	CR+EN
96		アツモリソウ	○				1	・		VU	CR+EN
97		イチヨウラン	○				1	・			CR+EN
98		セッコク	○				1	・			CR+EN
99		アオスズラン	○				1	・			VU
100		ハマカキラン	○				1	・		VU	VU
101		アオキラン	○				1	・		CR	CR+EN
102		カモメラン	○				1	・		NT	CR+EN
103		オノエラン	○				1	・			
104		マツラン	○				1	・		VU	CR+EN
105		シロテンマ	○					・	CR	CR+EN	

表3-58(3) 注目すべき植物種 (3/9)

No.	科名	種名	文献			選定基準						
						仙台市における 保全上重要な種			レッドデータ等			
			①	②	③	学術上重要な種	注目種		国 R L	県 R L	天記・ 種 保存法	
							減少種	環境指標種				
106	ラン	オオミズトンボ	○			1	・		EN	CR+EN		
107		ミズトンボ	○			1	B		VU	CR+EN		
108		ムカゴソウ	○			1	・		EN	VU		
109		ヒメノヤガラ	○			1	・		VU	VU		
110		ハクウンラン	○			1	・			VU		
111		ギボウシラン	○			1	・		EN	CR+EN		
112		フガクスズムシソウ	○			1	・		VU	CR+EN		
113		ジガバチソウ	○	○	○		・			NT		
114		クモキリソウ	○		○	1, 4	・					
115		ノビネチドリ	○				・			VU		
116		コフタバラン	○				・			CR+EN		
117		タンザワサカネラン	○			1	・		EN	CR+EN		
118		ヒメフタバラン	○			2	・			要		
119		サカネラン	○			1	・		VU	CR+EN		
120		ミヤマモジズリ	○			1	・			CR+EN		
121		ヒナチドリ	○			1	・		VU	CR+EN		
122		サギソウ	○			1	・		NT	CR+EN		
123		ミズチドリ	○				・			VU		
124		イイヌマムカゴ	○			1	・		EN	CR+EN		
125		ツレサギソウ	○	○			A			VU		
126		マイサギソウ	○			1	・			CR+EN		
127		ヤマサギソウ	○				・			VU		
128		オオバノトンボソウ	○				・			VU		
129		トキノウ	○			1	・		NT	VU		
130		ヤマトキノウ	○				・			CR+EN		
131		ウチョウラン	○			1	・		VU	CR+EN		
132		ネジバナ	○	○			B	○				
133		カヤラン	○			1	・			VU		
134		ヒトツボクロ	○				C			NT		
135		ショウキラン	○			1	・			CR+EN		
136		キンバイザサ	コキンバイザサ	○			1, 2	・			EX	
137		アヤメ	ヒオウギ	○			1	・			CR+EN	
138			ノハナショウブ	○	○		1	・	○			
139			ヒメシャガ	○	○			・	○	NT	NT	
140			カキツバタ	○			1	A		NT	VU	
141	アヤメ		○	○			・			NT		
142	ススキノキ	ゼンテイカ	○	○	○		B					
143	ヒガンバナ	ヤマラッキョウ	○				・			VU		
144	クサスギカズラ	スズラン	○	○			・			VU		
145		ヒメヤブラン	○	○	○		・	○				
146		ユキザサ	○	○			・	○				
147		オオバジャノヒゲ	○	○	○		・					
148		ヒメイズイ	○				・			NT		
149	ミズアオイ	ミズアオイ	○				B	○	NT	NT		
150		コナギ	○				C	○				
151	ガマ	ミクリ	○	○		1	B	○	NT	NT		
152		ヤマトミクリ	○			1	A		NT	CR+EN		
153		タマミクリ	○			1	・		NT	CR+EN		
154		ナガエミクリ	○			1	A		NT	NT		
155		ヒメミクリ	○			1	・		VU	VU		
156		ヒメガマ	○	○	○		C					
157		ガマ	○	○	○		C	○				
158	ホシクサ	ホシクサ	○			1	・			NT		

表3-58(4) 注目すべき植物種 (4/9)

No.	科名	種名	文献			選定基準						
						仙台市における 保全上重要な種			レッドデータ等			
			①	②	③	学術上重要な種	注目種		国 R L	県 R L	天記・ 種 保存法	
							減少種	環境指標種				
159	イグサ	ヒメコウガイゼキショウ	○				・				VU	
160	カヤツリグサ	サナギスゲ	○				・				CR+EN	
161		ハコネイトスゲ	○				・				CR+EN	
162		ヤマクボスゲ	○	○		1	・		NT		VU	
163		コウボウムギ	○				・	○				
164		タチスゲ	○			1	・				CR+EN	
165		タヌキラン	○				・	○				
166		マメスゲ	○			1	・				CR+EN	
167		オオカサスゲ	○				・					
168		オオクグ	○			1	・		NT		NT	
169		ツルカミカワスゲ	○				・				NT	
170		センダイスゲ	○	○	○	4	・					
171		オニナルコスゲ	○				・					
172		タチヒメクグ	○				・				VU	
173		ニイガタガヤツリ		○					CR		NT	
174		オオシロガヤツリ	○				・				NT	
175		スジヌマハリイ	○			1	・		VU		VU	
176		サギスゲ	○				・				NT	
177		ナガボテンツキ	○			2	・				VU	
178		カンガレイ	○	○				B				
179		オオフトイ	○				・					
180		フトイ	○					B				
181	サンカクイ	○	○	○			B					
182	ノグサ	○				・				VU		
183	コシンジュガヤ	○				・				VU		
184	イネ	ヒメコスカグサ	○				・		NT		NT	
185		ヤマアワ	○	○			・					
186		フサガヤ	○				・				VU	
187		ヒナザサ	○				・		NT		VU	
188		メヒシバ	○	○	○		・	○				
189		カゼクサ	○		○		C	○				
190		オオウシノケグサ	○	○	○	4	B	○				
191		ウキガヤ	○				C				NT	
192		ケカモノハシ	○				・	○				
193		カモノハシ	○			1	・					
194		エゾノサヤヌカグサ	○				C					
195		テンキグサ	○			1, 4	・	○				
196		オギ	○	○			C	○				
197		アイアシ	○			1	・	○			NT	
198		ヨシ	○	○	○		C	○				
199		ツルヨシ	○				C	○				
200		タチイチゴツナギ	○				・		EN		VU	
201		ハマヒエガエリ	○				・				VU	
202		タチドジョウツナギ	○			1	・				要	
203		アキウネマ加里	○			1	・				CR+EN	
204		スズダケ	○	○			・	○				
205	センダイザサ	○		○	3	・						
206	ケスズ	○			1	・						
207	スエコザサ	○			3	・						
208	ヒメスズダケ	○				・				NT		
209	ネズミノオ	○		○		C	○					
210	ヒゲシバ	○				・				NT		
211	ハイドジョウツナギ		○							VU		

表3-58(5) 注目すべき植物種 (5/9)

No.	科名	種名	文献			選定基準					
						仙台市における 保全上重要な種			レッドデータ等		
			①	②	③	学術上重要な種	注目種		国 R L	県 R L	天記・ 種 保 存 法
							減少種	環境指標種			
212	イネ	マコモ	○		○		B	○			
213		シバ	○	○	○		B	○			
214	マツモ	マツモ(狭義)	○	○	○	1	A				
215		ヨツバリキンギョモ	○			1, 2	A				
216	ケシ	ナガミノツルケマン	○			1	・		NT	NT	
217		ヤマブキノソウ	○	○		1	・			NT	
218	メギ	トガクシソウ	○			1	・		NT	CR+EN	
219	キンボウゲ	センウズモドキ	○				・		VU	NT	
220		ウゼントリカブト	○				・				
221		フクジュソウ	○			1	・			VU	
222		ニリンソウ	○	○			B	○			
223		イチリンソウ		○						CR+EN	
224		キクザキイチゲ	○	○			B	○			
225		レンゲショウマ	○			1	・			NT	
226		リュウキンカ	○				・	○			
227		カザグルマ	○	○		1	B		NT	VU	
228		トウゴクサバノオ	○			1	・			NT	
229		シラネアオイ	○				・	○		NT	
230		スハマソウ	○				・		NT	NT	
231		オキナグサ	○			1	・		VU	CR+EN	
232		コキツネノボタン	○			1	・		VU	VU	
233		バイカモ	○			1	・			NT	
234	ボタン	ヤマシャクヤク	○			1	・		NT	VU	
235		ベニバナヤマシャクヤク	○			1	・		VU	VU	
236	ユズリハ	ユズリハ	○	○	○	1, 2	C				
237	スグリ	ザリコミ	○			1	・			CR+EN	
238		トガスグリ	○			1	・			VU	
239	ユキノシタ	トリアシショウマ	○	○	○		B				
240		コガネネコノメソウ	○			1, 2	・				
241		エゾクロクモソウ	○			1	・				
242		コチャルメルソウ	○				・	○			
243		シコタンソウ	○			1	・			CR+EN	
244		ダイヤモンドソウ	○				・	○			
245		ユキノシタ	○		○		・				
246	ベンケイソウ	チチツバベンケイ	○			1	・				
247		キリンソウ	○				・	○			
248		ミヤママンネングサ	○				・			VU	
249	タコノアシ	タコノアシ	○	○			C		NT	NT	
250	アリノウグサ	タチモ	○			1	・		NT	VU	
251	マメ	タヌキマメ	○				・			CR+EN	
252		イワオウギ	○				・			NT	
253		マルバヌスビトハギ	○			1	C			NT	
254		エゾノレンソウ	○				C			NT	
255		レンソウ	○				B			VU	
256		ツクシハギ	○	○	○		B	○			
257		イヌハギ	○			1	・		VU	NT	
258		マキエハギ	○			1	・			NT	
259		オオボタンキリマメ	○				・			NT	
260		センダイハギ	○	○		1	・			CR+EN	
261	グミ	オオバグミ			○					VU	
262	ニレ	オヒョウ	○	○			・				
263		ケヤキ	○	○	○		B	○			
264	アサ	エノキ	○	○	○	4	B				

表3-58(6) 注目すべき植物種 (6/9)

No.	科名	種名	文献			選定基準						
						仙台市における 保全上重要な種			レッドデータ等			
			①	②	③	学術上重要な種	注目種		国 R L	県 R L	天記・ 種 保存法	
							減少種	環境指標種				
265	イラクサ	マルバヤブマオ	○			1	・			VU		
266		トキホコリ	○			1	・		VU	VU		
267		タチゲヒカゲミズ	○			2	・		VU	CR+EN		
268		コケミズ	○			1	・			NT		
269	バラ	ザイフリボク	○	○		1	・					
270		カスミザクラ	○	○	○		・	○				
271		ミヤマザクラ	○				・			CR+EN		
272		キンロバイ	○			1	・		VU	CR+EN		
273		ヤマブキ	○	○	○		・	○				
274		イワキンバイ	○				・	○				
275		ヒロハノカワラサイコ	○				・		VU	NT		
276		エチゴキジムシロ	○				・				要	
277		シャリンバイ		○							要	
278		オオタカネバラ	○			1	・			CR+EN		
279		タカネイバラ	○				・			NT		
280		ハマナス	○	○		4	/	○		NT		
281		エゾキイチゴ	○			1	・			CR+EN		
282		ヒメゴヨウイチゴ	○				・			VU		
283		サナギイチゴ	○				・		VU	NT		
284		カジイチゴ	○			1, 2						
285		ブナ	ブナ	○	○		4	・				
286			イヌブナ	○	○		1, 4	・	○			
287			アカガシ	○	○	○	2	C	○			
288			ナラガシワ	○		○	1	・				
289	ミズナラ		○	○			・					
290	アラカシ		○			1, 2	・				要	
291	シラカシ		○	○	○	2	C	○				
292	ウラジロガシ		○	○	○	2	C					
293	クルミ		○	○	○		B	○				
294	カバノキ	ハンノキ	○	○	○	1, 4	B	○				
295		ネコシデ	○				・			NT		
296		ミズメ	○				・					
297		ウダイカンバ	○	○	○	4	・					
298		サワシバ	○	○			・	○				
299		アカシデ	○	○	○		・	○				
300		イヌシデ	○	○	○	4	・	○				
301	トウダイグサ	ノウルシ	○				C		NT	NT		
302		マルミノウルシ	○				・		NT	VU		
303	ヤナギ	トカチヤナギ	○			1	・			NT		
304		ネコヤナギ	○	○		4	・	○				
305		シライヤナギ	○			1	・			VU		
306		キツネヤナギ	○	○	○		・	○				
307	スミレ	キバナノコマノツメ	○				・			VU		
308		ヒゴスミレ	○				・			CR+EN		
309		サクラスミレ	○	○		1	・					
310		ナガハシスミレ	○	○		1	B					
311		フモトスミレ	○			1	・			VU		
312	オトギリソウ	オシマオトギリ	○				・			VU		
313	フウロソウ	コフウロ	○			1	・			NT		
314	ミソハギ	ミズマツバ	○			1	・		VU	VU		
315		ヒメビシ	○				・		VU	CR+EN		
316		ヒシ	○	○	○		B	○				
317	アカバナ	ウスゲヤナギラン	○				・			CR+EN		

表3-58(7) 注目すべき植物種 (7/9)

No.	科名	種名	文献			選定基準					
			①	②	③	仙台市における 保全上重要な種		レッドデータ等			
						学術上重要な種	注目種		国 R L	県 R L	天記・ 種 保存法
							減少種	環境指標種			
318	ムクロジ	ヤマモミジ	○	○	○		・	○			
319		ナンゴクミネカエデ	○				・	○			
320		ハウチワカエデ	○	○	○		・				
321		メグスリノキ	○	○		1	・				
322		イタヤカエデ(広義)	○	○			・				
323		エンコウカエデ	○		○		・				
324		ウラゲエンコウカエデ	○		○		・				
325		ウリハダカエデ	○	○	○		・				
326		トチノキ	○	○			・				
327	ミカン	ミヤマシキミ	○			1	・				
328	アオイ	カラスノゴマ	○			1	・			NT	
329	アブラナ	ハマハタザオ	○				C			NT	
330		ナズナ	○	○	○		B	○			
331		ミズタガラシ	○				B			VU	
332		エゾハタザオ	○				・			NT	
333		コイヌガラシ		○					NT	CR+EN	
334		ハタザオ	○				B			VU	
335	ツチトリモチ	ミヤマツチトリモチ	○			1	・		VU	VU	
336	タデ	ムカゴトラノオ	○				・			NT	
337		ヒメタデ	○				B		VU	VU	
338		ヤナギヌカボ	○	○		1	C		VU	NT	
339		イヌタデ	○	○	○		・	○			
340		サデクサ	○			1	C			NT	
341		ヌカボタデ	○				C		VU	NT	
342		ミゾソバ	○	○	○		C	○			
343		ノダイオウ	○	○		1, 4	C		VU	NT	
344		マダイオウ	○				・			CR+EN	
345	モウセンゴケ	モウセンゴケ	○				・				
346	ナデシコ	カララナデシコ	○				・				
347		タカネナデシコ	○				・			VU	
348		ナンブワチガイソウ	○			1	・		VU	NT	
349		シラオイハコベ	○			1	・			CR+EN	
350		ナガバツメクサ	○				EX			EX	
351	ヒユ	ハマアカザ	○				B			NT	
352		ハママツナ	○			2	・	○		NT	
353	ザクロソウ	ザクロソウ	○			1	・				
354	サクラソウ	ヤブコウジ	○	○	○		・	○			
355		ユキワリコザクラ	○			1	・			NT	
356		クリソウ	○			1	・			VU	
357		サクラソウ	○			1	・	○	NT	CR+EN	
358	ツバキ	ヤブツバキ	○	○	○		B	○			
359		ナツツバキ		○						VU	
360	イワウメ	コイワウチワ	○			1, 4	・	○			
361	エゴノキ	オオバアサガラ	○			1	・				
362	ツツジ	ウメガサソウ	○				C	○			
363		コバノイチヤクソウ	○				・			NT	
364		ベニバナイチヤクソウ	○			1	・				
365		ヤマツツジ	○	○	○		・	○			
366		シロヤシオ	○				・	○			
367		トウゴクミツバツツジ	○			2	・				
368		ナツハゼ	○	○	○		・				
369	アオキ	アオキ	○	○	○		C	○			
370	アカネ	オオキヌタンソウ	○				・			NT	

表3-58(8) 注目すべき植物種 (8/9)

No.	科名	種名	文献			選定基準					
						仙台市における 保全上重要な種			レッドデータ等		
			①	②	③	学術上 重要な種	注目種		国 R L	県 R L	天記・ 種 保存法
							減少種	環境 指標種			
371	リンドウ	コケリンドウ	○				・			VU	
372		ハナイカリ	○				・			NT	
373		ホソバノツルリンドウ	○			1	・		VU	CR+EN	
374		イヌセンブリ	○			1	・		VU	NT	
375		テングノコヅチ	○				・		NT	NT	
376	マチン	アイナユ	○				・			CR+EN	
377	キョウチクトウ	フナバラソウ	○			1	・		VU	VU	
378		コカモメヅル	○		○	1	・			VU	
379		タチガシロ	○			1	・				
380		スズサイコ	○			1	・		NT	VU	
381	ヒルガオ	ハマヒルガオ	○				・	○			
382	ムラサキ	ムラサキ	○			1	・		EN	CR+EN	
383		ルリソウ	○	○			・			NT	
384	モクセイ	イボタノキ	○	○	○		・	○			
385	オオバコ	マルバノサワトウガラシ	○				・		VU	VU	
386		アブノメ	○	○			・			CR+EN	
387		オオアブノメ	○			1	B		VU	NT	
388		ウンラン	○				・				
389		オオバコ	○	○	○		・	○			
390		ヒヨクソウ	○				・			VU	
391		クワガタソウ	○				・			NT	
392		イヌノフグリ	○			1	・		VU	VU	
393		ミチノククワガタ	○				・			VU	
394		カワヂシャ	○			1	B		NT	NT	
395		シソ	ヒロハヤマトウバナ	○			1	・			
396	フトボナギナタコウジュ		○			1, 2	・				
397	タイリンヤマハッカ		○				・				
398	キセウタ		○				・		VU	CR+EN	
399	ヒメハッカ		○			1	B		NT	CR+EN	
400	シラゲヒメジソ		○			1	・			NT	
401	タテヤマウツボグサ		○			1	・				
402	アキノタムラソウ		○		○		C			NT	
403	ナミキソウ		○				・			NT	
404	エゾニガクサ		○			1	・		EN	CR+EN	
405	カリガネソウ				○					CR+EN	
406	ハマゴウ	○			1	・			CR+EN		
407	サギゴケ	ムラサキサギゴケ	○	○	○		C	○			
408	ハマウツボ	ナンバンギセル	○				・			VU	
409		オオナンバンギセル	○			1	・				
410		ミヤマシオガマ	○				・			VU	
411		トモエシオガマ	○				・			NT	
412		キヨスミウツボ	○			1	・			VU	
413	タヌキモ	ムシトリスミレ	○			1	・			NT	
414		イヌタヌキモ	○			1	・		NT	NT	
415		ミミカキグサ	○				A			CR+EN	
416		フサタヌキモ	○			1	EX		EN	EX	
417		タヌキモ	○			1	・		NT	CR+EN	
418		ヒメタヌキモ	○			1	・		NT	CR+EN	
419		ムラサキミミカキグサ	○			1	A		NT	NT	
420	クマツヅラ	クマツヅラ	○				・			VU	
421	モチノキ	イヌツゲ	○	○	○		・				
422		ソヨゴ	○			1, 2	・			NT	
423		アカミノイヌツゲ	○				・	○			

表3-58(9) 注目すべき植物種 (9/9)

No.	科名	種名	選定基準									
			文献			仙台市における 保全上重要な種		レッドデータ等				
			①	②	③	学術上 重要な種	注目種		国 R L	県 R L	天記・ 種 保存法	
							減少種	環境 指標種				
424	キキョウ	シデシャジン	○			1	・					
425		キキョウ	○	○	○	1	・	○	VU	NT		
426	ミツガシロ	ヒメシロアサザ	○			1	A		VU	VU		
427	キク	オクモミジハグマ	○	○	○		・	○				
428		キッコウハグマ	○	○	○		・	○				
429		シュウブンソウ	○			1, 2	・				NT	
430		オケラ	○	○	○		・	○				
431		エゾノタウコギ	○				・				VU	
432		ヒメガンクビソウ	○				・				VU	
433		イワインチン	○			1, 2	・				NT	
434		アワコガネギク	○				・			NT	NT	
435		アズマギク	○			1	・	○			VU	
436		フジバカマ	○				・			NT	NT	
437		タカサゴソウ	○				・			VU	VU	
438		ノニガナ	○				・				NT	
439		カワラニガナ	○				・			NT	VU	
440		コオニタビラコ	○				・				VU	
441		オオニガナ	○			1	・				NT	
442		カシワバハグマ	○				・				VU	
443		アキノハハコグサ	○				・			EN	CR+EN	
444		フボウトウヒレン	○			1	・				NT	
445		ミヤコアザミ	○			1	・				CR+EN	
446		ヒメヒゴタイ	○			1	・			VU	CR+EN	
447		アキノキリンソウ	○	○	○		・	○				
448		アオヤギバナ	○				・				CR+EN	
449		エゾタンポポ	○	○	○			B	○			
450		オカオグルマ	○			1	・				CR+EN	
451		オナモミ	○		○		・			VU	VU	
452		ウコギ	コシアブラ	○	○	○		・				
453		セリ	ハナビゼリ	○			1	・				NT
454	ミシマサイコ		○			1	・			VU	CR+EN	
455	ハマボウフウ		○			1	・					
456	ハナウド		○					C			NT	
457	オオカサモチ		○			1	・				NT	
458	イワセントウソウ		○			1	・					
459	タニミツバ		○			1	・				VU	
460	ヌマゼリ		○			1	B			VU	VU	
461	ガマズミ		レンブクソウ	○			1	・				NT
462			オオカメノキ	○				・	○			
463	スイカズラ	エゾヒョウタンボク	○			1	・			VU	CR+EN	
464		クロミノウグイスカグラ	○			1	・				NT	
465		ニッコウヒョウタンボク	○			1, 2	・				VU	
466		オミナエシ	○	○				B	○			
467		マツムシソウ	○			1	・				VU	
計	107 科	467 種	458 種	116 種	85 種	226 種	458 種	104 種	119 種	292 種	1 種	

注1) 種名は「河川水辺の国勢調査のための生物リスト 令和4年度生物リスト」(令和4年11月、河川環境データベース 国土交通省)に準拠した。

注2) 「学術上重要な種」「減少種」「国RL」「県RL」「天記・種保存法」の英数字等は、表3-57に対応する。

文献①: 「令和3年度 仙台市自然環境に関する基礎調査報告書」(令和4年2月、仙台市)

文献②: 「県民の森緑地環境保全地域学術調査報告書」(平成5年3月、宮城県)

文献③: 「加瀬沼緑地環境保全地域学術調査報告書」(平成13年3月、宮城県)

2) 植生の状況

現存植生図は図3-24に、植生自然度区分は表3-59に示すとおりである。計画地の現存植生は、「水田雑草群落」となっている。

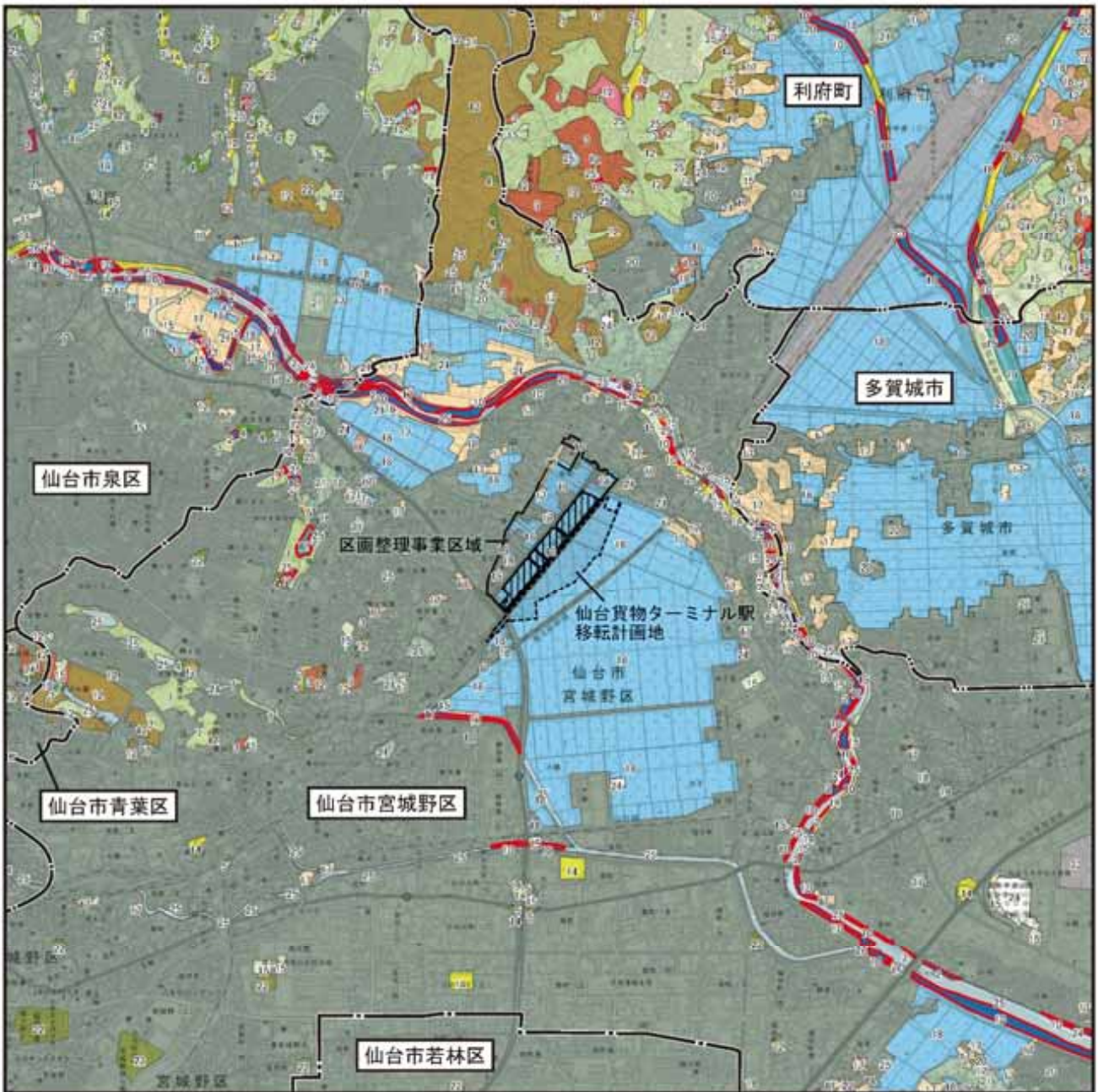
仙台市では、「令和2年度 仙台市自然環境に関する基礎調査業務委託報告書」（令和3年3月、仙台市）において、環境省の植生自然度9、10（自然植生）に該当する植生を「自然性の高い植生」として位置づけている。自然性の高い植生の分布は図3-24に示すとおりであり、七北田川等の川沿いのヨシクラス（植生自然度10）及びヤナギ低木群落（植生自然度9）、鶴ヶ谷中央公園内のヒルムシロクラス（植生自然度10）が該当している。また、多賀城市と利府町にまたがる加瀬沼にヒルムシロクラス（植生自然度10）が分布している。なお、計画地の植生は植生自然度2に該当し、「自然性の高い植生」には位置づけられない。

ただし、区画整理事業区域は、現在、全域において造成中である。また、JR東北本線を挟んで東側は仙台貨物ターミナル駅移転計画の計画地となっており、ここも全域において造成中である。現在は、区画整理事業区域、仙台貨物ターミナル駅移転計画地ともに植生自然度1に該当し、「自然性の高い植生」には位置づけられない。

表3-59 植生自然度区分

植生自然度	区分基準
10	高山ハイデ、風衝草原、自然草原等、自然植生のうち単層の植物社会を形成する地区
9	エゾマツトドマツ群集、ブナ群落等、自然植生のうち低木林、高木林の植物社会を形成する地区
8	ブナ・ミズナラ群落、シイ・カシ二次林等、代償植生であっても特に自然植生に近い地区
7	クリーミズナラ群集、コナラ群落等、繰り返し伐採されている一般に二次林と呼ばれている代償植生地区
6	常緑針葉樹、落葉針葉樹、常緑広葉樹等の植林地、アカメガシワ等の低木林
5	ササ群落、ススキ群落等の背丈の高い草原、伝統的な管理を受けて持続している構成種の多い草原
4	シバ群落等の背丈の低い草原、伐採直後の草原、路傍・空地雑草群落、放棄畑雑草群落
3	竹林、外来種の植林・二次林・低木林、果樹園、茶畑、残存・植栽樹群をもった公園、墓地等
2	外来種の草原、畑、水田等の耕作地、緑の多い住宅地
1	市街地、造成地等の植生のほとんど存在しない地区

出典：「1/2.5万植生図を基にした植生自然度について」（平成28年3月、環境省生物多様性センター）



凡例

-  計画地
-  市町界
-  区界
-  植生自然度9.10

※植生の凡例は、次のページに示す。

出典：
 仙台市部分：「令和2年度仙台市植生図(令和2年度 仙台市自然環境に関する基礎調査)」(令和3年3月、仙台市)
 多賀城市、利府町部分：「第6-7回自然環境保全基礎調査」(環境省生物多様性センター)

図3-24 現存植生図

S=1/50,000
 0 0.5 1.0 1.5 2.0km



凡例

- 1 ヤナギ高木群落(IV)
- 2 ヤナギ低木群落(IV)
- 3 アカマツ群落(V)
- 4 落葉広葉低木群落
- 5 ススキ群団(V)
- 6 伐採跡地群落(V)
- 7 クリーコナラ群集
- 8 アズマネザサ群落
- 9 クズ群落
- 10 ヨシクラス
- 11 ヒルムシロクラス
- 12 スギ・ヒノキ・サワラ植林
- 13 竹林
- 14 ゴルフ場・芝地
- 15 路傍・空地雑草群落
- 16 果樹園
- 17 畑雑草群落
- 18 水田雑草群落
- 19 放棄水田雑草群落
- 20 市街地
- 21 緑の多い住宅地
- 22 残存・植栽樹群をもった公園、墓地等
- 23 工場地帯
- 24 造成地
- 25 開放水域
- 26 自然裸地

出典：

仙台市部分：「令和2年度仙台市植生図(令和2年度 仙台市自然環境に関する基礎調査)」(令和3年3月、仙台市)
多賀城市、利府町部分：「第6-7回自然環境保全基礎調査」(環境省生物多様性センター)

図3-24 現存植生図【凡例】

3) 保全上重要な植物の生育地の状況

「令和3年度 仙台市自然環境に関する基礎調査報告書」（令和4年2月、仙台市）による、仙台市における植物生育地として重要な地域の選定基準は表3-60に、調査範囲における重要な地域は表3-61及び図3-25に示すとおりである。

また、「宮城県の希少な野生動植物-宮城県レッドリスト2023年版-」（令和5年3月、宮城県）による希少な植物群落のカテゴリー区分は表3-62に示すとおりであり、調査範囲において該当する植物群落は表3-63及び図3-25に示すとおりである。

計画地は、植物生育地として重要な地域に含まれていない。

表3-60 植物生育地及び動物生息地として重要な地域の選定基準（仙台市）

番号	判断理由
1	保全上重要な動植物種が高密度で分布する地域（動物の繁殖場、集団越冬地となっている地域など）
2	多様な生物相が保存されている地域
3	自然性の高い植生、その他学術上重要な植生が保存されている地域
4	湿地、湧水、岸壁地、地滑り等の動植物の生息・生育地として特異な環境を有する地域
5	自然とのふれあいの場としてふさわしい地域
6	環境教育の場としてふさわしい地域
7	郷土の特色が保存されている地域（里地里山・居久根等）
8	緑の回廊としてあるいは動物の移動のネットワークとして重要な地域 （山地から市街地への連続した緑地、市街地や田園地域に点在する緑地等）
9	海岸や水辺、植生帯境界等のエコトーンとして重要な地域

出典：「令和3年度 仙台市自然環境に関する基礎調査報告書」（令和4年2月、仙台市）

表3-61 植物生育地として重要な地域

No.	市町名	件名	備考	判断理由※
1	仙台市	七北田川下流域の河畔植生	ヨシ群落（自然植生度10）を主体とする河畔植生で、防災・減災対策と整合性のある保全・保護対策が必要。流域の各所をつなぐ生態系回廊（生態系コリドー）や市民の憩いの場として極めて貴重。環境省の東北地方太平洋沿岸地域重要自然マップの重点エリアに含まれる。	8,9
2		与兵衛沼周辺の里地・里山植生	市街地の内部に残された、まとまりのある緑地、里地・里山植生。野生動植物のハビタット、環境学習のフィールド、市街地の内部のとび石型生態系回廊（生態系コリドー）として重要。	7,8
3		榴ヶ岡・新寺・木下地区の緑地	市街地内部に残された、段丘に沿った緑地と社寺林景観からなるまとまりのある緑地として重要。	7,8
4		県民の森	県民の森緑地環境保全地域。仙台市北東部に張り出した丘陵末端に位置し、市街地に隣接する緑地、公園。東部田園地域に唯一含まれる丘陵地である。野生動植物のハビタット、環境学習のフィールドとして重要。	5,6,7
5		燕沢三丁目の緑地	燕沢三丁目特別緑地保全地区として都市緑地法に基づき仙台市より指定を受けた緑地。市街地に残された景観上優れた緑地として重要。	7
6	多賀城市、利府町	加瀬沼	加瀬沼緑地環境保全地域。都市近郊でありながら、多様な自然環境が残されている貴重な地域。	—

※ 表3-60に対応する。

注) No.は、図3-25に対応する。

出典：「令和3年度 仙台市自然環境に関する基礎調査報告書」（令和4年2月、仙台市）
「加瀬沼緑地環境保全地域学術調査報告書」（平成13年3月宮城県）

表3-62 希少な植物群落のカテゴリー区分

カテゴリー		絶滅危機の度合い
D	壊滅	群落は壊滅した。
4	壊滅状態	群落は全体的に壊滅状態にあり、緊急に対策を講じなければ壊滅する。
3	壊滅危惧	対策を講じなければ、群落は徐々に悪化して壊滅する。
2	破壊危惧	群落は当面保護されているが、将来破壊されるおそれがある。
1	要注意	現在、保護・管理状態がよく、当面破壊されるおそれが少ない。 しかし、監視は必要である。

出典：「宮城県の希少な野生動植物-宮城県レッドリスト2023年版-」（令和5年3月、宮城県）

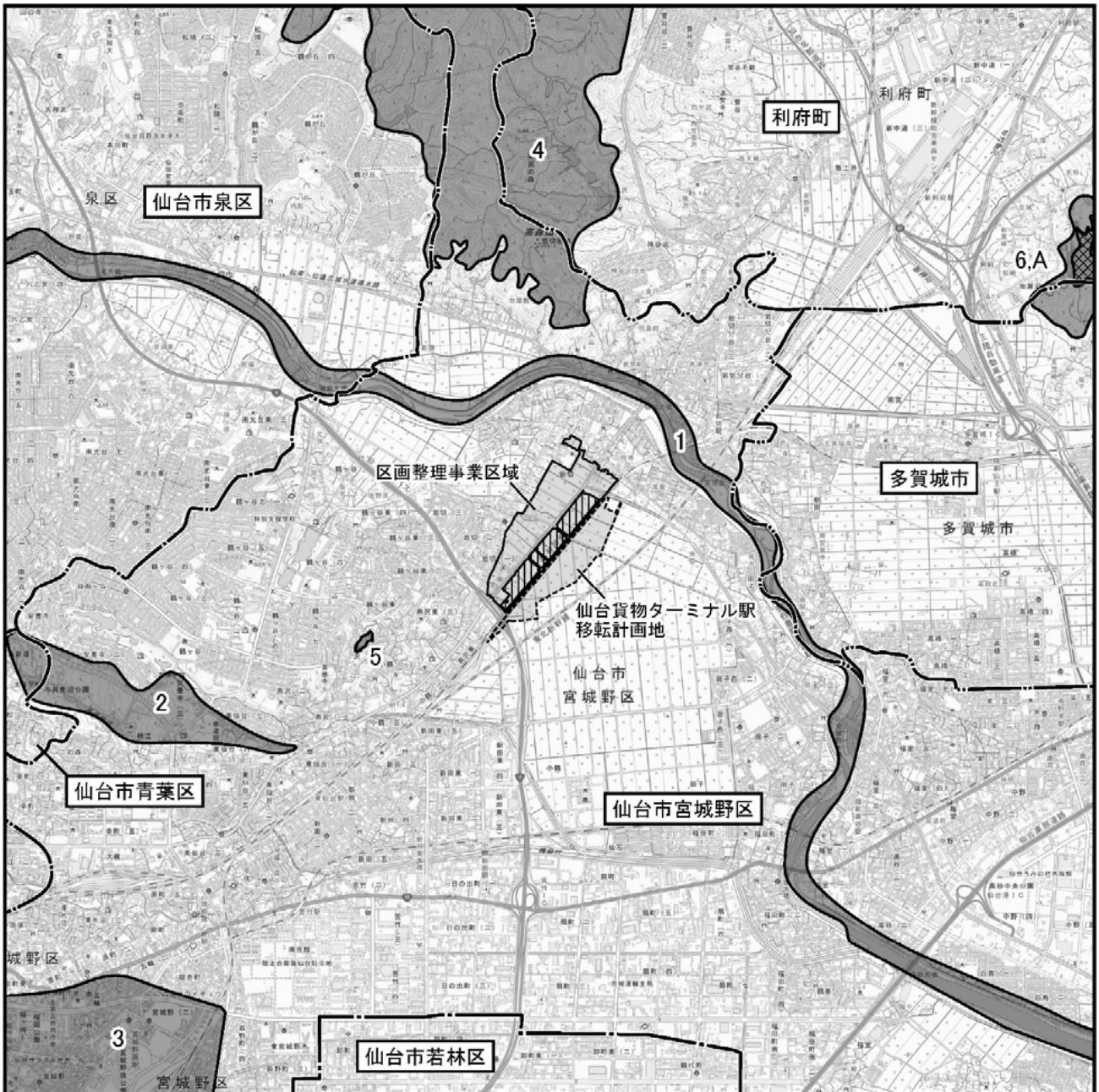
表3-63 希少な植物群落（群落複合(植生)）

No.	植生タイプ	群落名	カテゴリー※
A	池沼植生	加瀬沼の池沼植物群落	3






※ 表3-62に対応する。

注) No.は、図3-25に対応する。

出典：「宮城県の希少な野生動植物-宮城県レッドリスト2023年版-」（令和5年3月、宮城県）



凡 例

-  計画地
-  市町界
-  区 界
-  植物生育地として重要な地域 (1~6)
-  宮城県レッドデータブックで選定された植物群落 (A)

注) 図中の番号は、表3-61.63に対応する。

出典：「令和3年度 仙台市自然環境に関する基礎調査報告書」(令和4年2月、仙台市)

「宮城県の絶滅のおそれのある野生動植物-宮城県レッドリスト2023年版-」(令和5年3月、宮城県)

図3-25
植物生育地として重要な地域及び
宮城県レッドデータブックで選定された植物群落

S=1/50,000
0 0.5 1.0 1.5 2.0km



(2)動物

1)注目すべき動物種の状況

調査範囲は市街地や田園地域であり、人の生活空間の拡大や農地の区画整備、各種開発事業等により動物の生息環境が減少しているが、市街地に残された公園、田園地域にみられる居久根などの緑地や河川沿いなどでイタチ、カワセミなどが生息している。

調査範囲における注目すべき動物種の状況は、以下に示す文献①～③の掲載種より整理した。

文献①については、「保全上重要な種」に挙げられている種のうち、計画地が該当する地域区分「東部田園地域」（表3-56参照）における減少種のみを注目すべき種として抽出した。

文献②及び③については、表3-57に示した選定基準に該当するものを注目すべき種として整理した。

整理した結果は表3-64～69に示すとおりであり、調査範囲における注目すべき動物種は、哺乳類12科31種、鳥類35科98種、爬虫類5科9種、両生類6科14種、魚類16科37種、昆虫類55科125種であった。

①「令和3年度 仙台市自然環境に関する基礎調査報告書」（令和4年2月、仙台市）

②「県民の森緑地環境保全地域学術調査報告書」（平成5年3月、宮城県）

③「加瀬沼緑地環境保全地域学術調査報告書」（平成13年3月、宮城県）

表3-64 注目すべき動物種（哺乳類）

No.	科名	種名	文献			選定基準					
						仙台市における 保全上重要な種			レッドデータ等		
			①	②	③	学術上重要な種	注目種		国 R L	県 R L	天記・ 種保存法
							減少種	環境指標種			
1	トガリネズミ	トガリネズミ	○				/	○		DD	
2		ジネズミ	○				C	○			
3		カワネズミ	○			1, 4	/	○		DD	
4	モグラ	ヒメヒミズ	○			1	/	○			
5		ミズラモグラ	○			1, 4	/		NT	NT	
6	キクガシラコウモリ	コキクガシラコウモリ	○			1	・	○			
7		キクガシラコウモリ	○			1	・	○			
8	ヒナコウモリ	ヒメホオヒゲコウモリ	○			1, 4	・	○		VU	
9		カグヤコウモリ	○			1, 4	・	○		CR+EN	
10		モモジロコウモリ	○			1, 4	・	○			
11		モリアブラコウモリ	○			1, 4	・	○	VU	CR+EN	
12		ヤマコウモリ	○			1, 4	C	○	VU	VU	
13		ヒナコウモリ	○			1, 4	・	○			
14		ニホンウサギコウモリ	○			1, 4	・	○		VU	
15		ユビナガコウモリ	○			1, 4	・	○			
16		コテングコウモリ	○			1, 4	・	○			
17		テングコウモリ	○			1, 4	・	○		VU	
18	リス	ニホンモモンガ	○			1, 4	・				
19		ムササビ	○			1, 4	・	○			
20	ヤマネ	ヤマネ	○			1, 4	/			NT	天
21	ネズミ	ヤチネズミ	○			4	・				
22		ハタネズミ	○	○			C	○			
23		ヒメネズミ	○	○			/	○			
24		カヤネズミ	○			2	・	○		要	
25	クマ	ツキノワグマ	○			4	・				
26	イヌ	タヌキ	○	○	○		+	○			
27	イタチ	テン	○				・	○			
28		ニホンイタチ	○	○	○		C	○			
29		オコジョ	○			1, 4	/		NT	NT	
30	ウシ	カモシカ	○			4	・	○		要	特天
31	ネズミイルカ	スナメリ	○			2	/			LP	
計	12科	31種	31種	4種	2種	24種	31種	24種	4種	14種	2種

注1) 種名は「河川水辺の国勢調査のための生物リスト 令和4年度生物リスト」(令和4年11月、河川環境データベース 国土交通省)に準拠した。

注2) 「学術上重要な種」「減少種」「国RL」「県RL」「天記・種保存法」の英数字等は、表3-55に対応する。

文献①：「令和3年度 仙台市自然環境に関する基礎調査報告書」(令和4年2月、仙台市)

文献②：「県民の森緑地環境保全地域学術調査報告書」(平成5年3月、宮城県)

文献③：「加瀬沼緑地環境保全地域学術調査報告書」(平成13年3月、宮城県)

表3-65(1) 注目すべき動物種(鳥類)(1/2)

No.	科名	種名	文献			選定基準						
						仙台市における 保全上重要な種			レッドデータ等			
			①	②	③	学術上 重要な種	注目種		国 R L	県 R L	天記・ 種保存法	
			減少種	環境指標種								
1	キジ	ウズラ	○			1, 4	A		VU	CR+EN		
2		ヤマドリ	○	○		1, 4	・	○				
3	カモ	ヒシクイ	○				C		VU・NT	VU・NT		
4		マガン	○		○	1, 4	B		NT		天	
5		ハクガン	○			1, 4	・		CR	要		
6		シジュウカラガン	○			1, 4	・		CR	NT	国内	
7		コクガン	○			1, 2, 4	/		VU	VU	天	
8		オシドリ	○			1, 4	・		DD			
9		トモエガモ	○			1	C		VU			
10		カイツブリ	カイツブリ	○	○	○		C	○			
11		サギ	サンカノゴイ	○			1	B		EN	NT	
12	ヨシゴイ		○	○		1, 4	C	○	NT	NT		
13	オオヨシゴイ		○			1, 4	A		CR	CR+EN	国内	
14	ミソゴイ		○			1, 4	/		VU	VU		
15	アマサギ		○			4	C	○				
16	チュウサギ		○			1, 2, 4	C		NT			
17	コサギ		○	○	○		C	○			NT	
18	カラシラサギ		○			1	・		NT	NT		
19	クイナ		クイナ	○			1, 4	B			NT	
20		ヒクイナ	○			1, 4	B		NT	CR+EN		
21		バン	○		○	1, 4	C	○				
22	カッコウ	ホトギス	○	○	○	1, 4	C	○				
23		カッコウ	○	○		1, 4	C	○				
24	ヨタカ	ヨタカ	○			1, 4	A	○	NT	VU		
25	アマツバメ	ハリオアマツバメ	○				/			NT		
26	チドリ	イカルチドリ	○		○	1, 4	B	○		NT		
27		シロチドリ	○			1, 4	・	○	VU	NT		
28	シギ	オオジシギ	○			1, 4	C		NT	VU		
29		オグロシギ	○				C			NT		
30		オオソリハシシギ	○				B		VU	NT		
31		ホウロクシギ	○			1, 4	・		VU	NT	国際	
32		ツルシギ	○			1, 4	C		VU	NT		
33		アカアシシギ	○			1	C		VU			
34		タカブシギ	○				C		VU			
35		ハマシギ	○			1, 4	C	○	NT	NT		
36		ヘラシギ	○			1	・		CR	CR+EN	国内	
37	タマシギ	タマシギ	○				A		VU			
38	カモメ	コアシサシ	○			1, 2, 4	B		VU	VU	国際	
39	ウミスズメ	ウミスズメ	○			1, 4	/		CR			
40	ミサゴ	ミサゴ	○			1, 4	+	○	NT			
41	タカ	ハチクマ	○			1, 4	/		NT	VU		
42		オジロワシ	○			1, 2, 4	B		VU	VU	天・国内・国際	
43		オオワシ	○			1, 2, 4	B		VU	VU	天・国内	
44		チュウヒ	○			1, 4	C	○	EN	NT		
45		ツミ	○	○		1, 4	C			DD		
46		ハイタカ	○	○	○	1, 4	C		NT	NT		
47		オオタカ	○	○	○	1, 4	B	○	NT	NT		
48		サシバ	○	○		1, 4	B		VU	VU		
49		ノスリ	○	○	○		+	○				
50		イヌワシ	○			1, 4	/	○	EN	CR+EN	天・国内	
51		クマタカ	○			1, 4	/	○	EN	VU	国内	
52	フクロウ	オオコノハズク	○			1	B			NT		

表3-65(2) 注目すべき動物種(鳥類)(2/2)

No.	科名	種名	文献			選定基準					
						仙台市における 保全上重要な種			レッドデータ等		
			①	②	③	学術上 重要な種	注目種		国 R L	県 R L	天記・ 種保存法
減少種	環境指 標種										
53	フクロウ	コノハズク	○			1	・	○		DD	
54		フクロウ	○	○		1	B	○			
55		アオバズク	○			1	B	○		VU	
56		トラフズク	○			1	B			NT	
57		コミズク	○			1	B	○		NT	
58	カワセミ	アカショウビン	○			1	/			NT	
59		カワセミ	○	○	○	1, 4	C	○			
60		ヤマセミ	○			1, 4	・	○		NT	
61	キツツキ	アカゲラ	○	○	○		C				
62		アオゲラ	○	○	○		C	○			
63	ハヤブサ	チョウゲンボウ	○			1, 4	C				
64		チゴハヤブサ	○				B			NT	
65		ハヤブサ	○	○		1, 4	C		VU	NT	国内
66	サンショウクイ	サンショウクイ	○	○	○		C		VU	NT	
67	カササギヒタキ	サンコウチョウ	○	○	○	1	B	○			
68	モズ	チゴモズ	○			1, 4	A		CR	CR+EN	
69		モズ	○	○	○	1	+	○			
70		アカモズ	○			1, 4	A		EN	CR+EN	国内
71	ヒバリ	ヒバリ	○	○	○		C	○			
72	ツバメ	ツバメ	○	○	○		C	○			
73		コシアカツバメ	○				A			CR+EN	
74	ウグイス	ウグイス	○	○	○	1, 4	C	○			
75	ムシクイ	メボソムシクイ上種			○				DD		
76		センダイムシクイ	○	○	○		・	○			
77	センニュウ	オオセッカ	○			1, 3, 4	/		EN	VU	国内
78	ヨシキリ	オオヨシキリ	○	○	○	1, 4	C	○			
79		コヨシキリ	○			1, 4	B	○			
80	セッカ	セッカ	○			1, 4	C	○			
81	ゴジュウカラ	ゴジュウカラ	○	○			・	○			
82	カワガラス	カワガラス	○				・	○			
83	ヒタキ	トラツグミ	○	○	○		C	○			
84		クロツグミ	○	○		1, 4	C	○			
85		シロハラ	○	○	○		・	○			
86		コルリ	○			1, 4	C	○			
87		ルリビタキ	○	○	○		C				
88		コサメビタキ	○	○	○		・	○			
89		キビタキ	○	○	○		・	○			
90		オオルリ	○	○	○	1, 4	C	○			
91	イワヒバリ	イワヒバリ	○				/			CR+EN	
92	セキレイ	キセキレイ	○	○	○	1, 4	C	○			
93		セグロセキレイ	○	○	○	4	C	○			
94	ホオジロ	ホオジロ	○	○	○		C	○			
95		ホオアカ	○		○		C	○			
96		ノジコ	○			1, 4	/		NT	NT	
97		アオジ	○	○	○		C				
98		コジュリン	○			1, 4	B		VU	VU	
計	35科	98種	97種	36種	32種	69種	97種	47種	46種	52種	14種

注1) 種名は「日本鳥類目録 改訂第7版」(平成24年、日本鳥類学会)に準拠した。

注2) 「学術上重要な種」「減少種」「国RL」「県RL」「天記・種保存法」の英数字等は、表3-57に対応する。

文献①:「令和3年度 仙台市自然環境に関する基礎調査報告書」(令和4年2月、仙台市)

文献②:「県民の森緑地環境保全地域学術調査報告書」(平成5年3月、宮城県)

文献③:「加瀬沼緑地環境保全地域学術調査報告書」(平成13年3月、宮城県)

表3-66 注目すべき動物種（爬虫類）

No.	科名	種名	文献			選定基準					
						仙台市における保全上重要な種			レッドデータ等		
			①	②	③	学術上重要な種	注目種		国RL	県RL	天記・種保存法
減少種	環境指標種										
1	トカゲ	ヒガシニホントカゲ	○			1	・	○			
2	カナヘビ	ニホンカナヘビ	○	○	○		C	○			
3	タカチホヘビ	タカチホヘビ	○			1	・			DD	
4	ナミヘビ	アオダイショウ	○	○	○		C	○			
5		ジムグリ	○				C	○			
6		シロマダラ	○			1	・			DD	
7		ヒパカリ	○				C	○			
8		ヤマカガシ	○	○	○		C	○			
9	クサリヘビ	ニホンナムシ	○		○		C				
計	5科	9種	9種	3種	4種	3種	9種	6種	0種	2種	0種

注1) 種名は「河川水辺の国勢調査のための生物リスト 令和4年度生物リスト」(令和4年11月、河川環境データベース 国土交通省)に準拠した。

注2) 「学術上重要な種」「減少種」「国RL」「県RL」の英数字は、表3-57に対応する。

文献①：「令和3年度 仙台市自然環境に関する基礎調査報告書」(令和4年2月、仙台市)

文献②：「県民の森緑地環境保全地域学術調査報告書」(平成5年3月、宮城県)

文献③：「加瀬沼緑地環境保全地域学術調査報告書」(平成13年3月、宮城県)

表3-67 注目すべき動物種（両生類）

No.	科名	種名	文献			選定基準					
						仙台市における保全上重要な種			レッドデータ等		
			①	②	③	学術上重要な種	注目種		国RL	県RL	天記・種保存法
減少種	環境指標種										
1	サンショウウオ	トウホクサンショウウオ	○	○	○	4	/	○	NT	NT	
2		クロサンショウウオ	○	○	○		/	○	NT	LP	
3		キタオウシュウサンショウウオ	○			2	/	○		NT	
4	イモリ	アカハライモリ	○	○			C	○	NT	LP	
5	ヒキガエル	アズマヒキガエル	○	○	○		C				
6	アマガエル	ニホンアマガエル	○	○	○		+	○			
7	アカガエル	タゴガエル	○				/			NT	
8		ニホンアカガエル	○	○	○		C				
9		ヤマアカガエル	○	○			C			NT	
10		トウキョウダルマガエル	○	○			C	○	NT	NT	
11		ツチガエル	○	○			・	○			
12	アオガエル	シュレーゲルアオガエル	○		○		C	○			
13		モリアオガエル	○				/	○			
14		カジカガエル	○				/	○			
計	6科	14種	14種	9種	6種	2種	14種	10種	4種	7種	0種

注1) 種名は「河川水辺の国勢調査のための生物リスト 令和4年度生物リスト」(令和4年11月、河川環境データベース 国土交通省)に準拠した。

注2) 「学術上重要な種」「減少種」「国RL」「県RL」の英数字は、表3-57に対応する。

文献①：「令和3年度 仙台市自然環境に関する基礎調査報告書」(令和4年2月、仙台市)

文献②：「県民の森緑地環境保全地域学術調査報告書」(平成5年3月、宮城県)

文献③：「加瀬沼緑地環境保全地域学術調査報告書」(平成13年3月、宮城県)

表3-68 注目すべき動物種（魚類）

No.	科名	種名	文献			選定基準					
			①	②	③	仙台市における 保全上重要な種		レッドデータ等			
						学術上 重要な種	注目種		国 R L	県 R L	天記・ 種 保存 法
1	ヤツメウナギ	スナヤツメ北方種	○				1	C			
2		スナヤツメ南方種	○			1	C		VU	NT	
-		スナヤツメ類	○	○		1	C		VU	DD・NT	
3		カワヤツメ	○			1	/		VU	CR+EN	
4	ウナギ	ニホンウナギ	○			1	C	○	EN	NT	
5	コイ	キンブナ	○	○			A		VU	VU	
6		テツギョ	○			1	/			要	
7		タナゴ	○				EX		EN	CR+EN	
8		アカヒレタビラ	○				EX		EN	CR+EN	
9		ゼニタナゴ	○				EX		CR	CR+EN	
10		エゾウグイ	○			1, 4	/		LP	CR+EN	
11		ウグイ	○		○		+	○			
12		シナイモツゴ	○			1, 4	/		CR	CR+EN	
13			スナゴカマツカ	○				・			DD
14		ドジョウ	ドジョウ	○	○	○		+	○	NT	
15	キタドジョウ		○				・		DD	DD	
16	フクドジョウ	ホトケドジョウ	○	○		1	・	○	EN	NT	
17	ギギ	ギバチ	○			1	・		VU	NT	
18	キュウリウオ	ワカサギ	○				・			NT	
19	アユ	アユ	○				+	○			
20	シラウオ	シラウオ	○				C			NT	
21	サケ	ニッコウイワナ	○				/		DD		
22		サクラマス	○			1	/	○	NT	NT	
-		サクラマス(ヤマメ)	○				/	○	NT		
23	トゲウオ	ニホンイトヨ	○			1, 4	A		LP	CR+EN	
24	メダカ	ミナメダカ	○		○	1	B	○	VU	NT	
25	サヨリ	クルマサヨリ	○			1	A		NT	VU	
26	カジカ	カジカ	○				/	○	NT		
27		ウツセミカジカ (淡水性両側回遊型)	○			1	・		EN	VU	
28	ハゼ	ヒモハゼ	○			1	/	○	NT	NT	
29		シロウオ	○				B		VU	NT	
30		ボウズハゼ	○			2	/			DD	
31		アベハゼ	○			2	・			NT	
32		マサゴハゼ	○			1, 2	/		VU	VU	
33		スミウキゴリ	○			1	・		LP		
34		ヘビハゼ	○			1	/		DD	DD	
35		ジュズカケハゼ	○	○	○		B		NT	NT	
36		エドハゼ	○			1	/		VU	CR+EN	
37	クロホシマンジュウダイ	クロホシマンジュウダイ	○			2	・			要	
計	16科	37種	37種	4種	4種	22種	37種	9種	28種	31種	0種

注1) 種名は「河川水辺の国勢調査のための生物リスト 令和4年度生物リスト」(令和4年11月、河川環境データベース 国土交通省)に準拠した。

注2) スナヤツメ類は、スナヤツメ北方種かスナヤツメ南方種のどちらかであるため、種数に計上しない。また、サクラマス(ヤマメ)は、サクラマスと同種であるため、種数に計上しない。

注3) 「学術上重要な種」「減少種」「国RL」「県RL」の英数字は、表3-57に対応する。

文献①:「令和3年度 仙台市自然環境に関する基礎調査報告書」(令和4年2月、仙台市)

文献②:「県民の森緑地環境保全地域学術調査報告書」(平成5年3月、宮城県)

文献③:「加瀬沼緑地環境保全地域学術調査報告書」(平成13年3月、宮城県)

表3-69(1) 注目すべき動物種(昆虫類)(1/3)

No.	科名	種名	文献			選定基準						
			①	②	③	仙台市における 保全上重要な種		レッドデータ等				
						学術上 重要な種	注目種		国 R L	県 R L	天記・ 種 保存法	
1	イトトンボ	ヒヌマイトンボ	○				1,2	/				
2	ムカシトンボ	ムカシトンボ	○			1,4	/	○				
3	ヤンマ	ネアカヨシヤンマ	○				・		NT	NT		
4		マダラヤンマ	○				B		NT	VU		
5		マルタンヤンマ	○				C			NT		
6		カトリヤンマ	○			1	A			CR+EN		
7	サナエトンボ	ウチワヤンマ	○			1	・					
8		ヒメサナエ	○			1	/			VU		
9		ナゴヤサナエ	○			1,2	A		VU	CR+EN		
10	ムカシヤンマ	ムカシヤンマ	○			1,4	/	○				
11	エゾトンボ	オオトラフトンボ	○			1	/					
12		エゾトンボ	○				/			VU		
13	トンボ	ハッチョウトンボ	○			1	/	○		VU		
14		コノシメトンボ	○			1	・			CR+EN		
15		キトンボ	○			1	・			VU		
16		ナツアカネ	○		○		C	○				
17		マユタテアカネ	○		○		・					
18		アキアカネ	○		○		+	○				
19		マイコアカネ	○		○		C					
20		ヒメアカネ	○			1	/			CR+EN		
21		オオゴキブリ	オオゴキブリ	○				/			VU	
22		マツムシ	スズムシ	○			1	・				
23	ヒバリモドキ	ハマスズ	○				/			CR+EN		
24	バッタ	ヤマトマダラバッタ	○			2	/	○		VU		
25		カワラバッタ	○			1	A	○		NT		
26	ゼミ	エゾゼミ	○		○		/	○				
27	ヨコバイ	スナヨコバイ	○				/		NT	CR+EN		
28	カメムシ	ヒウラカメムシ	○				・			NT		
29	コオイムシ	コオイムシ	○			1	C		NT	NT		
30		タガメ	○			1	A	○	VU	CR+EN	特二	
31	ツノトンボ	ツノトンボ	○			1	・			CR+EN		
32		キバネツノトンボ	○			1	・			VU		
33	ウスバカゲロウ	カスリウスバカゲロウ	○				・			DD		
34		オオウスバカゲロウ	○				/	○		CR+EN		
35	ボクトウガ	ハイイロボクトウ	○				・	○	NT			
36	セセリチョウ	ホシチャバネセセリ	○			1	/		EN	VU		
37		チャマダラセセリ	○			1	/		EN	CR+EN		
38	シジミチョウ	スギタニルシジミ本州亜種	○				/	○				
39		ジョウザンミドリシジミ	○				/	○				
40		クロミドリシジミ	○			1	/					
41		カラスシジミ	○				/			NT		
42		クロシジミ	○			1	/		EN	EX		
43		オオゴマシジミ	○				/	○	NT	DD		
44		フジミドリシジミ	○			1	/	○				
45	タテハチョウ	ウラギンスジヒョウモン		○						VU		
46		オオウラギンヒョウモン	○				EX		CR	EX		
47		キマダラモドキ	○			1	/		NT	NT		
48		ウラジャノメ本州亜種	○			1,2	/			DD		
49		ジャノメチョウ	○	○			・	○				
50		オオムラサキ	○		○	1	・	○	NT			
51		ギンボシヒョウモン本州亜種	○			1	/			CR+EN		
52	アゲハチョウ	アオスジアゲハ	○		○	4	+	○				
53		ヒメギフチョウ本州亜種	○			1	/	○	NT	NT		
54	シロチョウ	ヒメシロチョウ北海道・本州亜種	○				EX		EN	CR+EN		

表3-69(2) 注目すべき動物種（昆虫類）(2/3)

No.	科名	種名	文献			選定基準						
						仙台市における 保全上重要な種		レッドデータ等				
			①	②	③	学術上重要な種	注目種		国 R L	県 R L	天記・ 種保存法	
							減少種	環境指標種				
55	ツトガ	ゼニガサミズメイガ	○				・					
56	スズメガ	ヒメスズメ	○				・		NT	CR+EN		
57		ギンボシスズメ	○			1	/			CR+EN		
58	シャチホコガ	タツカモクメシャチホコ	○			1	/					
59		クワヤマエグリシャチホコ	○			1	/		NT	NT		
60	ヒトリガ	キバラヒトリ	○			1	/			NT		
61	ドクガ	フタホシドクガ	○			1	/			NT		
62	ヤガ	コシロシタバ	○			1	/		NT	NT		
63		ヌマベウスキヨトウ	○				・		VU			
64		ギンモンセダカモクメ	○			1	・		NT	CR+EN		
65		オガサワラヒゲヨトウ	○			1	/		EN	CR+EN		
66		キスジウスキヨトウ	○				・		VU			
67		オオチャバネヨトウ	○				・		VU			
68		ギンモンアカヨトウ	○				・		VU			
69	オサムシ	ハマベミズギワゴミムシ	○				/			VU		
70		マークオサムシ	○				・		VU	CR+EN		
71		セアカオサムシ	○				・		NT	NT		
72		ツヤキベリアオゴミムシ	○				/		VU	VU		
73		キバナガミズギワゴミムシ	○				/			VU		
74		ヤマトツクリゴミムシ	○		○	1	・					
75		ギョウトクコムズギワゴミムシ	○				/		VU	DD		
76		ヒョウタンゴミムシ	○				/	○		NT		
77	ハンミョウ	カワラハンミョウ	○			1	/	○	EN	CR+EN		
78		ホソハンミョウ	○				/		VU	NT		
79		ナミハンミョウ	○				・	○		NT		
80	ゲンゴロウ	ゲンゴロウ	○			1	A		VU	NT	特二	
81		シマゲンゴロウ	○				・		NT			
82		オオイチモンジシマゲンゴロウ	○			1	A		EN	VU	特二	
83		エゾヒメゲンゴロウ	○				/			DD		
84	コガシラミズムシ	マダラコガシラミズムシ	○				・		VU	DD		
85	クワガタムシ	ネブトクワガタ本土亜種	○			2	/			DD		
86		ミヤマクワガタ	○	○			・	○				
87		オニクワガタ	○			1	/	○				
88		ノコギリクワガタ	○	○			+	○				
89	コガネムシ	アカマダラハナムグリ	○				・		DD	NT		
90		ダイコクコガネ	○				/		VU	VU		
91		ヤマトケシマグソコガネ	○				/	○		NT		
92	コブスジコガネ	コブナシコブスジコガネ	○				/			NT		
93	ナガハナノミ	タテスジヒメヒゲナガハナノミ	○				/			DD		
94	タマムシ	タマムシ	○			1、2	・			NT		
95	コメツキムシ	カワイヒラアシコメツキ	○			2	/			DD		
96		スナサビキコリ	○			2	/			NT		
97	ホタル	ゲンジボタル	○			1	C	○		NT		
98		ヒメボタル	○				/	○		NT		
99		スジグロボタル	○				/			NT		
100	オオキノコムシ	クロホシチビオオキノコムシ	○			1	/			DD		
101	ゴミムシダマシ	ハマヒョウタンゴミムシダマシ	○				/	○				
102	カミキリムシ	ヤマトキモンハナカミキリ	○					B		VU		
103		ヨツボシカミキリ	○	○				A	EN	CR+EN		
104	ハムシ	ベニカメノコハムシ	○				・			NT		
105		タグチホソヒラタハムシ	○				/			VU		
106		シラハタミズクサハムシ	○				/			VU		
107	ヒゲナガゾウムシ	エゴヒゲナガゾウムシ	○				・			DD		
108	コマユバチ	ウマノオバチ	○				/		NT			

表3-69(3) 注目すべき動物種（昆虫類）(3/3)

No.	科名	種名	文献			選定基準						
						仙台市における 保全上重要な種			レッドデータ等			
			①	②	③	学術上重要種	注目種		国 R L	県 R L	天記・ 種保存法	
							減少種	環境指標種				
109	スズメバチ	モンスズメバチ		○						DD		
110	クモバチ	アカゴシクモバチ	○				/				NT	
111		ムツボシクモバチ	○				/			NT		
112		ホソシロフクモバチ	○				/				NT	
113		ハイイロクモバチ	○				/				NT	
114	ツチバチ	オオモンツチバチ	○				/				NT	
115	ドロバチモドキ	ヤマトスナハキバチ本土亜種	○				/			DD	NT	
116		ニッポンハナダカバチ	○				/			VU	CR+EN	
117	アリマキバチ	アシジロヨコバイバチ	○					C			NT	
118		ミヤギノヨコバイバチ	○				/				VU	
119		キアシマエダテバチ	○	○				C			DD	
120	フシダカバチ	キスジツチスガリ	○			1	/				CR+EN	
121	ムカシハナバチ	ホソメンハナバチ	○					・			CR+EN	
122		ノウメンメンハナバチ	○				/				CR+EN	
123	コハナバチ	アオスジハナバチ	○	○		1, 2	/				CR+EN	
124	ハキリバチ	キヌゲハキリバチ	○			1	/				VU	
125		マイマイツツハナバチ	○	○		1	・			DD	VU	
計	55科	125種	123種	9種	8種	53種	123種	29種	46種	91種	3種	

注1) 種名は「河川水辺の国勢調査のための生物リスト 令和4年度生物リスト」(令和4年11月、河川環境データベース 国土交通省)に準拠した。

注2) 「学術上重要種」「減少種」「国RL」「県RL」「天記・種保存法」の英数字等は、表3-57に対応する。

文献①：「令和3年度 仙台市自然環境に関する基礎調査報告書」(令和4年2月、仙台市)

文献②：「県民の森緑地環境保全地域学術調査報告書」(平成5年3月、宮城県)

文献③：「加瀬沼緑地環境保全地域学術調査報告書」(平成13年3月、宮城県)

2) 保全上重要な動物の生息地の状況

動物生息地として重要な地域は表3-70及び図3-26に示すとおりであり、そのうち仙台市における選定基準は表3-60に示したとおりである。

計画地の一部が「福田町の田園」に含まれているが、区画整理事業区域は、現在、全域において造成中であり、かつての水田、畑地等は造成地へと大きく改変された。また、JR東北本線を挟んで東側の仙台貨物ターミナル駅移転計画の計画地も全域において造成中であり、かつての水田、畑地等は造成地へと大きく改変された。

表3-70 動物生息地として重要な地域

No.	市町名	件名	備考	判断理由※
1	仙台市	七北田川 (中流域～ 河口)	野生動植物のハビタット、生態系回廊(生態系コリドー)として重要。川に接する地域の環境変化が著しく、動物の生息環境・移動経路としての重要性がとて大きくなってきている。河川周辺のヨシ原に生息する鳥類の貴重な生息地であり、コクガン、カモ類、カモメ類などの水鳥の渡来地として重要な環境になっている。河口部には様々な汽水・海水性魚類が出現し、温暖化の指標となり得る暖水性魚類など学術的に重要な魚種もこれに含まれる。環境省の東北地方太平洋沿岸地域重要自然マップの重点エリアに含まれる。 【対象：哺乳類、鳥類、魚類】	2,8
2		低地の水田地帯	野生動植物のハビタット、生態系回廊(生態系コリドー)として重要。セッカの繁殖、ホオアカの繁殖、シギ・チドリ類の中継地、ガン・ハクチョウ類の採餌環境。居久根は低地における鳥類の生息地及び移動のための中継地として重要。東日本大震災の津波により、本地域に生息するミナミメダカの生息地がほぼ失われたが、四郎丸地区は残存したメダカの生息地である。 【対象：鳥類、魚類】	1,7,8
3		福田町の田園	市街地の内部に残されたまとまった広がり確保された田園生態系として重要。環境学習のフィールドとして重要。かつてはマガン、その他水鳥の渡来地としての利用もあった。 【対象：鳥類】	5,7
4		県民の森 (丘陵地)	市街地の南部に位置する緑地・公園である。鳥類の中継地、昆虫類の生息地、環境学習のフィールドとして重要である。 【対象：動物全般】	6,7
5		与兵衛沼公園	市街地の内部に残された、まとまりのある緑地、里地・里山植生であり、野生動植物のハビタット、環境学習のフィールドとして重要である。 【対象：動物全般】	1,6,7
6	多賀城市、 利府町	加瀬沼	加瀬沼緑地環境保全地域	—

※ 表3-60に対応する。

注) No.は、図3-26に対応する。

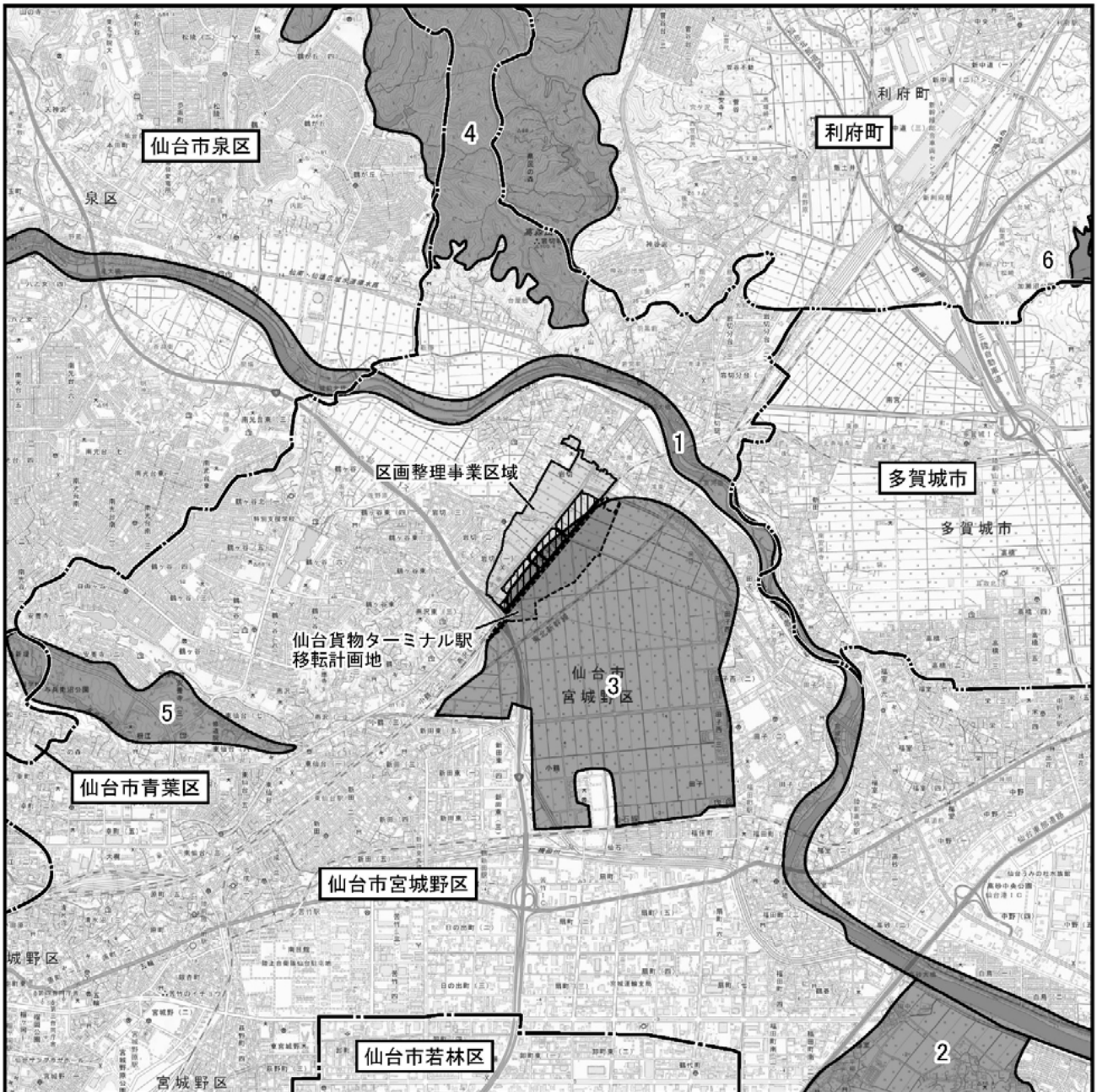
出典：「令和3年度 仙台市自然環境に関する基礎調査報告書」(令和4年2月、仙台市)
「加瀬沼緑地環境保全地域学術調査報告書」(平成13年3月、宮城県)

(3)生態系





計画地は、沖積平野に位置し、沖積平野の西側は丘陵地に接している。

計画地は、北側を七北田川、南側を高野川に挟まれた平坦な地形である、市街地の内部に残されたまとまった広がりをもつ田園生態系となっている。計画地の現存植生は、大部分が「水田雑草群落」となっており、一部に「畑雑草群落」「市街地」がみられる。

調査範囲では、北側に位置する県民の森において豊富な動物や植物がみられるほか、七北田川沿いや鶴ヶ谷中央公園内等に自然性の高い植生が分布している。動物は、人の生活空間の拡大等により生息環境が減少しているが、市街地に残された公園、田園地域にみられる居久根などの緑地や河川沿いなどで、キツネ、イタチ、カワセミ等の生息の記録がある。



凡例

-  計画地
-  市町界
-  区界
-  動物生息地として重要な地域 (1~6)

注) 図中の番号は、表3-70に対応する。

出典：「令和3年度 仙台市自然環境に関する基礎調査報告書」(令和4年2月、仙台市)
「加瀬沼緑地環境保全地域学術調査報告書」(平成13年3月、宮城県)

図3-26 動物生息地として重要な地域

S=1/50,000
0 0.5 1.0 1.5 2.0km



3.1.5 景観等

(1) 景観

主要な自然的景観資源及び文化的景観資源並びに主要な眺望地点は、表3-71及び図3-27に示すとおりである。

1) 自然的景観資源及び文化的景観資源の状況

自然的景観資源としては、計画地の西側約1.5kmの鶴ヶ谷中央公園周辺や北側約1.9kmの高森山公園（岩切城跡）等があり、文化的景観資源としては、高森山公園（岩切城跡）や東北東側約2.4kmの慈雲寺等がある。

2) 眺望地点の状況

主要な眺望地点としては、岩切城跡（高森山公園）及び松森城跡がある。

表3-71 主要な自然的・文化的景観資源及び主要な眺望地点

No.	名称	景観資源		眺望地点	文献				
		自然的 景観資源	文化的 景観資源		①	②	③	④	⑤
1	宮城野通	●				●	●		
2	清水沼公園	●					●		
3	岩切城跡（高森山公園）	●	●	●		●	●		●※
4	鶴ヶ谷中央公園周辺	●				●			
5	与兵衛沼公園・柝江の森	●				●	●		
6	松森城跡	●	●	●		●			
7	卸町通「ケヤキ並木」	●				●	●		
8	山王遺跡		●					●	
9	加瀬沼	●						●	●
10	塩釜街道		●					●	
11	山王・南宮板倉		●					●	
12	慈雲寺		●					●	
13	貴船神社		●					●	
14	南宮神社		●					●	
15	日吉神社		●					●	

※ 「県民の森」として掲載されている。

注) No.は、図3-27に対応する。

出典：文献①：「みやぎ・身近な景観百選」（平成24年9月、宮城県都市計画課）

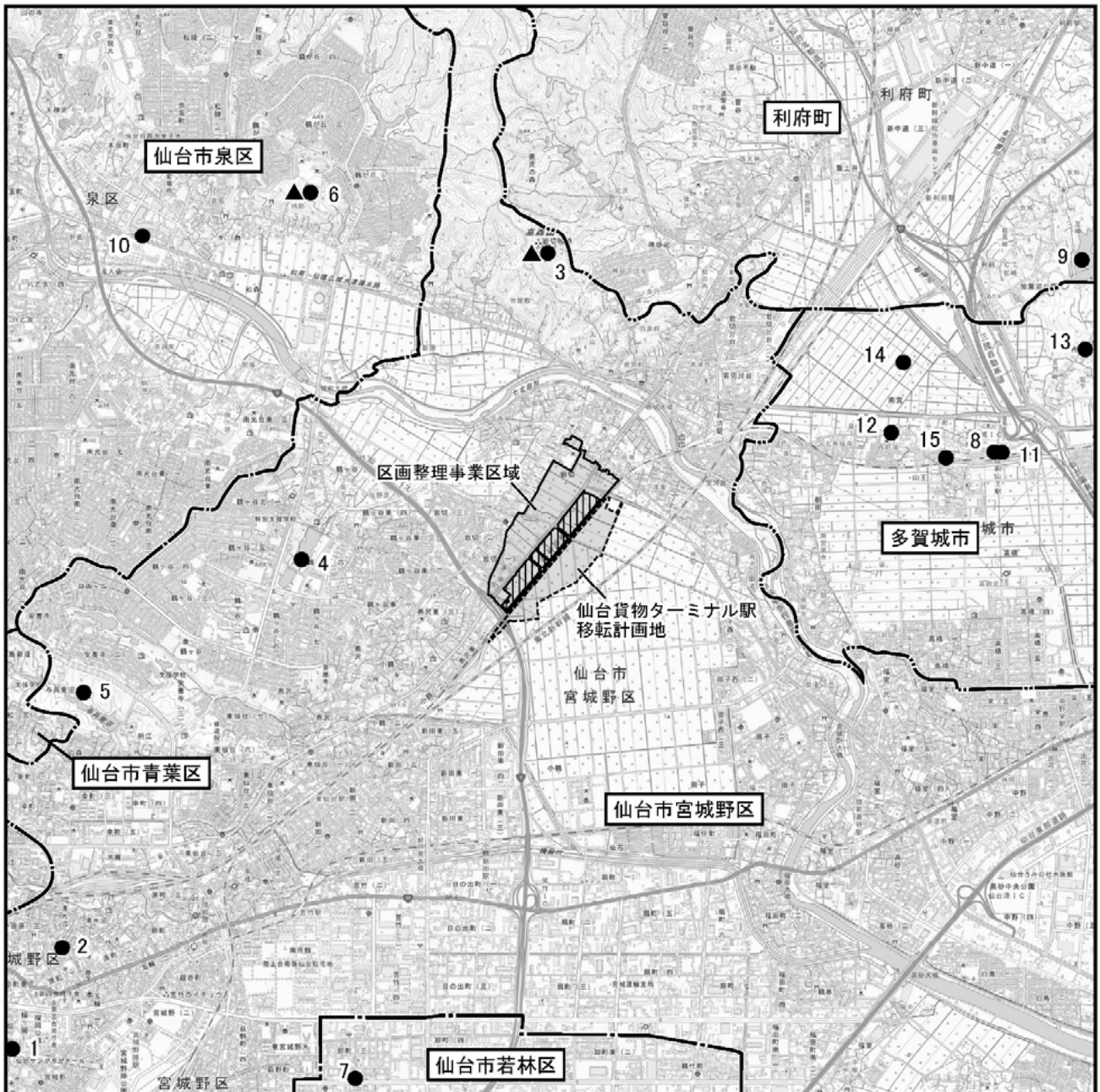
文献②：「杜の都 わがまち緑の名所100選 平成12年度選定」（令和5年8月閲覧、仙台市）

文献③：「杜の都・仙台 令和版 わがまち緑の名所100選」（令和5年8月閲覧、仙台市）

文献④：「観る」（令和5年8月閲覧、多賀城市観光協会）

文献⑤：「利府の名所案内」（令和5年8月閲覧、利府町観光協会）

なお、「令和3年度 仙台市自然環境に関する基礎調査報告書」（令和4年2月、仙台市）において「自然景観資源」が選定されているが、調査範囲に位置するものはなかった。



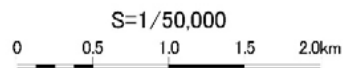
凡例

-  計画地
-  市町界
-  区界
-  主要な景観資源
-  主要な眺望地点

注) 図中の番号は、表3-71に対応する。

出典：「みやぎ身近な景観百選」(平成24年9月、宮城県都市計画課)
 「杜の都 わがまち緑の名所100選」(令和5年8月閲覧、仙台市)
 「杜の都・仙台 令和版 わがまち緑の名所100選」(令和5年8月閲覧、仙台市)
 「観る」(令和5年8月閲覧、多賀城市観光協会)
 「利府の名所案内」(令和5年8月閲覧、利府町観光協会)

図3-27 主要な景観資源・眺望地点の位置



(2)自然との触れ合いの場

調査範囲における自然との触れ合いの場は、表3-72及び図3-28に示すとおりである。計画地の北側約1.2kmに宮城県緑地環境保全地域である「県民の森」が存在するほか、特別緑地保全地区、保存緑地、都市計画公園、都市公園等が存在する。

なお、計画地には、これら自然との触れ合いの場は存在しない。

表3-72 自然との触れ合いの場（都市公園等）

都市公園

所在地	公園No.	名称	所在地	公園No.	名称	所在地	公園No.	名称		
仙台市	1-M-	1 燕沢公園	仙台市	1-M-	104 燕沢三丁目2号公園	仙台市	1-M-	221 福住町東公園		
		3 西田公園			105 田子鳥井2号公園			223 岩切分台2丁目さんかく公園		
		11 山崎東公園			106 山崎西2号公園			224 岩切分台3丁目公園		
		12 屋鋪公園			108 鴻巣3号公園			126 鶴ヶ丘一丁目公園		
		13 鶴ヶ谷七丁目南公園			111 仙石南公園			131 松木沢公園		
		14 鶴ヶ谷八丁目公園			115 仙石西公園			134 長岫公園		
		23 鶴ヶ谷六丁目公園			126 燕沢二丁目公園			200 松木沢北公園		
		24 鶴ヶ谷七丁目北公園			130 小鶴一丁目北公園			216 松森台公園		
		25 安養寺下東公園			133 燕沢東二丁目公園			314 南光台東3丁目南公園		
		26 新田公園			137 田子要害西公園			319 南光台東2丁目ゆうひ公園		
		27 福住町公園			140 鴻巣4号公園			321 南光台東3丁目公園		
		30 小鶴公園			141 鶴ヶ谷館下公園			322 南光台東2丁目あさひ公園		
		31 川北公園			145 鶴ヶ谷東四丁目公園			2-M-	1 扇町1丁目公園	
		32 沢北公園			149 田子2丁目公園				10 燕沢中央公園	
		33 菖蒲沢東公園			150 田子2丁目北公園				11 新田東中央公園	
		34 青津目公園			151 鶴ヶ谷東三丁目公園			3-M-	1 鶴ヶ谷中央公園	
		35 鴻巣1号公園			153 鶴ヶ谷東二丁目公園				4-M-	1 七北田川岩切大橋緑地
		37 佐野原公園			155 田子一丁目南公園			2 七北田川田子緑地		
		40 畑中公園			156 燕沢東一丁目きただ公園			3 七北田川岩切緑地		
		41 鴻巣2号公園			157 畑中2号公園			7-M-	1 高森山公園	
		44 山崎西公園			160 鶴ヶ谷東二丁目東公園				11-M-	1 大久保山緑地
		46 若宮前公園			162 余目公園			3 燕沢二丁目緑地		
		47 吉ヶ沢公園			163 仙石北公園			6 鶴ヶ谷東二丁目緑地		
		49 羽黒前公園			166 燕沢東一丁目公園			多賀城市	A-	1 新田1号公園
		51 東河原公園			167 畑中東公園					2 新田2号公園
		53 三所北公園			168 観音前西公園					3 新田3号公園
		63 若宮前2号公園			169 鶴ヶ谷東一丁目公園					4 新田4号公園
		69 鶴ヶ谷東公園			170 三所北4号公園					5 新田5号公園
		75 燕沢東三丁目公園			171 岩切1号公園					7 南安楽寺公園
		76 鶴ヶ谷南公園			173 平成2丁目東公園					8 河原公園
		77 岩切小児公園			175 岩切昭和北公園					9 新田後公園
		80 鶴ヶ谷六丁目東公園			179 苗代沢公園					10 南安楽寺2号公園
		82 田子袋河原公園			180 田子1丁目北公園					11 南関合西公園
		87 鶴ヶ谷菖蒲沢公園			182 新田東五丁目北公園			12 新田新後公園		
		91 田子鳥井公園			183 新田東五丁目南公園			13 新田後2号公園		
		93 岩切水分公園			184 新田東二丁目公園			14 冠公園		
		94 田子小原公園			190 小鶴二丁目公園			15 どんぐり公園		
		95 三所北2号公園			192 岩切駅南公園			C-	9 北寿福寺中公園	
		96 燕沢三丁目公園			193 鶴ヶ谷東四丁目2号公園				10 北寿福寺2号公園	
		97 三所北3号公園			199 鶴ヶ谷東一丁目2号公園				a ちびっこ広場7	
		98 鶴ヶ谷菖蒲沢2号公園			202 岩切2号公園			b ちびっこ広場22		
		101 田子要害東公園			203 新田二丁目公園			c ちびっこ広場27		
		102 上田子2号公園			217 燕沢東2丁目南公園			d ちびっこ広場28		
		103 岩切観音前公園			218 岩切上河原公園			利府町		

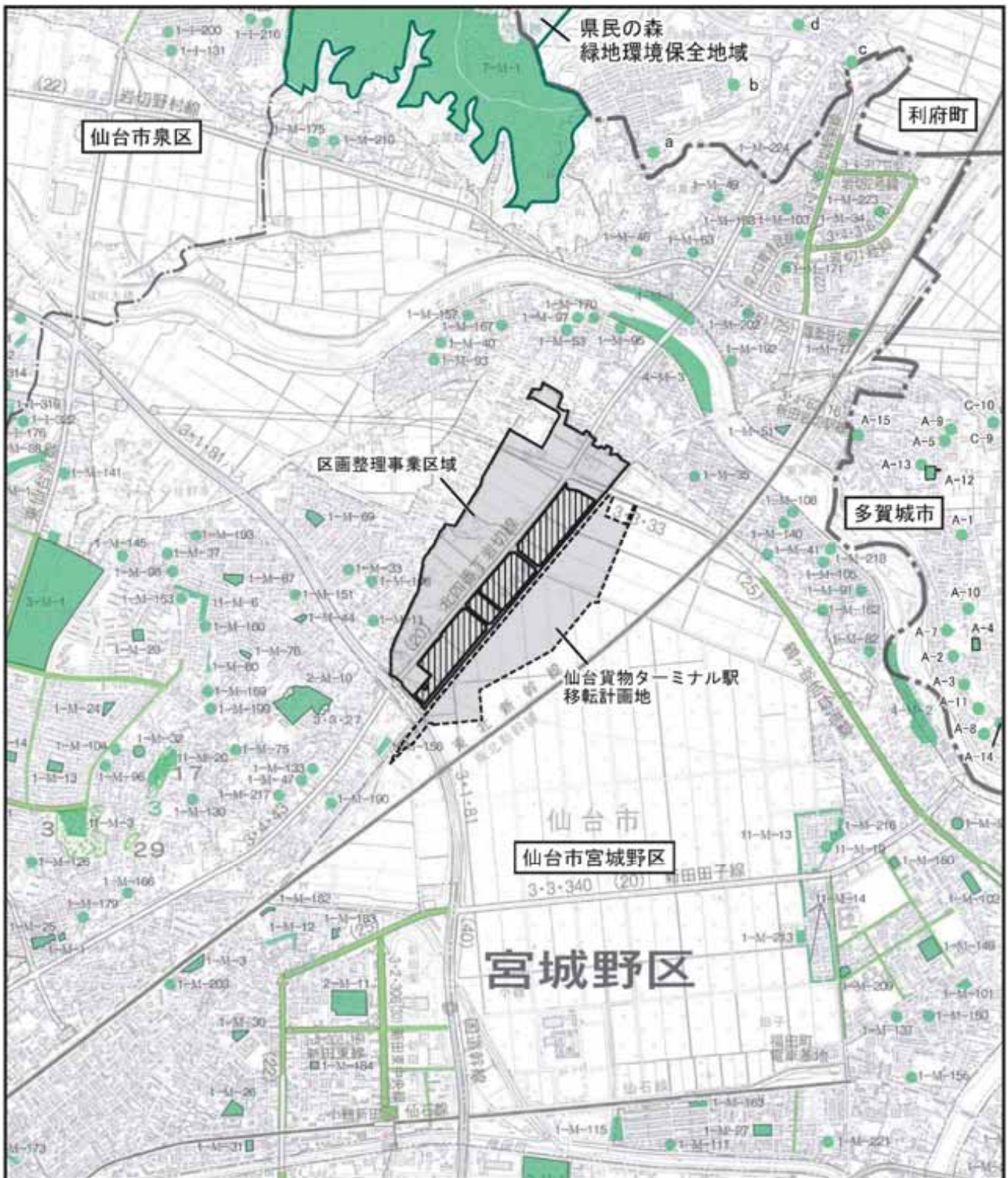
注1) 網掛けは、都市計画公園を示す。
注2) 利府町の公園No.は、本書において便宜上つけたNo.である。

特別緑地保全地区

所在地	公園No.	名称
仙台市	4	燕沢三丁目特別緑地保全地区

保存緑地

所在地	公園No.	名称	所在地	公園No.	名称	所在地	公園No.	名称
仙台市	3	善応寺	仙台市	17	案内沢北	仙台市	29	大拙庵



凡例

- | | | | | | | | | | |
|--|--|--|---|---|--|--|--|--|---|
|  計画地 |  市町界 |  区界 |  宮城県緑地環境保全地域 |  市街化区域 |  1 風致地区 |  特別緑地保全地区 |  都市公園 |  保存緑地
町の中心部等につくられる緑地 |  街路樹 |
|  都市計画公園 |  都市計画緑地 | | | | | | | | |

出典：「仙台市公園・緑地等配置図(令和3年3月31日現在)」(仙台市建設局)

「多賀城市公園・緑地等管理図(平成24年6月28日作成)」(多賀城市)、「公園一覧表」(令和5年8月閲覧、利府町ホームページ)

図3-28
自然との触れ合いの場(都市公園等)の分布



(3)文化財

調査範囲における指定文化財等の分布状況は、表3-73(1)～(5)及び図3-29に示すとおりであり、国指定文化財として、特別史跡の「山王遺跡千刈田地区」、史跡の「岩切城跡」等がある。また、市指定文化財として、仙台市に「東光寺の石窟群域・西平場」、多賀城市に「南安楽寺古碑群」等がある。なお、利府町には町指定文化財及び町指定登録文化財は存在しない（令和5年8月、利府町町民生活部生活環境課聞き取り）。

計画地には指定文化財等は存在しない。

表3-73(1) 指定文化財の状況（国指定文化財）

指定区分	No.	名称	員数	所在地	指定年月日
史跡	1	岩切城跡	1ヶ所	仙台市宮城野区岩切字入山、利府町	昭和57年8月23日
天然記念物	2	苦竹のイチョウ	1本	仙台市宮城野区銀杏町	大正15年10月20日
特別史跡	3	山王遺跡千刈田地区 (多賀城跡附寺跡)	—	多賀城市山王	平成5年9月22日 (追加指定)

注) No.は、図3-29に対応する。

出典：「仙台市の文化財（指定・登録文化財）の種類と数」（令和5年8月閲覧、仙台市教育委員会文化財課）
「多賀城市の文化財（指定文化財）」（令和5年8月閲覧、多賀城市教育委員会）

表3-73(2) 指定文化財の状況（国登録文化財）

指定区分	No.	名称	員数	所在地	指定年月日
建造物	4	宮城野納豆製造所納豆及び納豆菌製造棟	1棟	宮城野区銀杏町663他	令和元年9月10日
建造物	5	宮城野納豆製造所熟成棟	1棟	宮城野区銀杏町663他	令和元年9月10日
建造物	6	宮城野納豆製造所石蔵及び豆小屋	1棟	宮城野区銀杏町663他	令和元年9月10日
建造物	7	宮城野納豆製造所休憩室	1棟	宮城野区銀杏町663他	令和元年9月10日
建造物	8	宮城野納豆製造所ボイラー室	1棟	宮城野区銀杏町663他	令和元年9月10日
建造物	9	宮城野納豆製造所垂炭小屋	1棟	宮城野区銀杏町663他	令和元年9月10日
建造物	10	宮城野納豆製造所車庫	1棟	宮城野区銀杏町663他	令和元年9月10日
建造物	11	鳥山米穀店店舗兼主屋	1棟	宮城野区原町	令和元年9月10日

注) No.は、図3-29に対応する。

出典：「仙台市の文化財（指定・登録文化財）の種類と数」（令和5年8月閲覧、仙台市教育委員会文化財課）
「多賀城市の文化財（指定文化財）」（令和5年8月閲覧、多賀城市教育委員会）

表3-73(3) 指定文化財の状況（県指定文化財）

指定区分	No.	名称	員数	所在地	指定年月日
建造物	12	旧仙台城板倉	1棟	宮城野区岩切	昭和53年5月2日
建造物	13	旧歩兵第四連隊兵舎	1棟	宮城野区五輪一丁目301番3	令和5年3月24日
考古資料	14	野川遺跡出土品	729点	宮城野区高砂二丁目22-1	平成14年5月1日

注) No.は、図3-29に対応する。

出典：「仙台市の文化財（指定・登録文化財）の種類と数」（令和5年8月閲覧、仙台市教育委員会文化財課）
「多賀城市の文化財（指定文化財）」（令和5年8月閲覧、多賀城市教育委員会）

表3-73(4) 指定文化財の状況（市指定文化財）

指定区分	No.	名称	員数	所在地	指定年月日
建造物	15	善応寺開山堂	1棟	仙台市宮城野区燕沢2丁目	昭和43年2月15日
歴史資料	16	原町苦竹の道知るべ石	1基	仙台市宮城野区原町3丁目	昭和52年3月1日
史跡	17	善応寺横穴古墳群	1ヶ所	仙台市宮城野区燕沢2丁目	昭和43年2月15日
史跡	18	松森焔硝蔵跡	—	仙台市泉区南光台東2丁目	昭和62年5月1日
史跡	19	東光寺の石窟群・西平場	未登録	仙台市宮城野区岩切字入山地内	平成18年1月17日
—	20	南安楽寺古碑群	—	多賀城市新田字南安楽寺48付近	昭和48年12月18日
—	21	伏石	—	多賀城市市川字坂下71	昭和48年12月18日

注) No.は、図3-29に対応する。

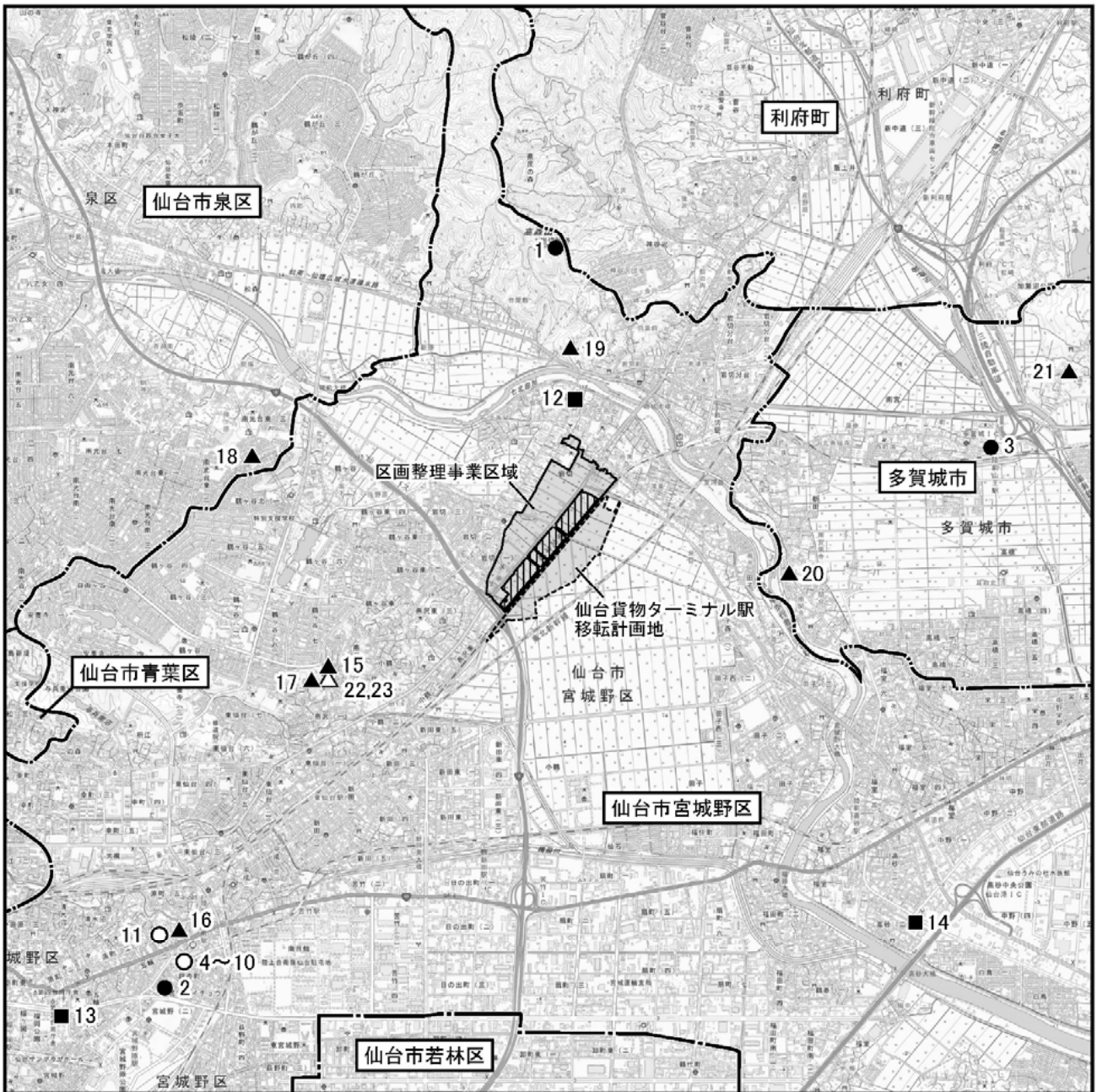
出典：「仙台市の文化財（指定・登録文化財）の種類と数」（令和5年8月閲覧、仙台市教育委員会文化財課）
 「多賀城市の文化財（指定文化財）」（令和5年8月閲覧、多賀城市教育委員会）

表3-73(5) 指定文化財の状況（市登録文化財）




指定区分	No.	名称	員数	所在地	指定年月日
彫刻	22	十一面観音菩薩立像	1軀	仙台市宮城野区燕沢2丁目	平成9年3月25日
彫刻	23	毘沙門天立像	1軀	仙台市宮城野区燕沢2丁目	平成9年3月25日

注) No.は、図3-29に対応する。

出典：「仙台市の文化財（指定・登録文化財）の種類と数」（令和5年8月閲覧、仙台市教育委員会文化財課）



凡例

-  計画地
-  市町界
-  区界
- 国指定文化財(1~3) ▲ 市指定文化財(15~21)
- 国登録文化財(4~11) △ 市登録文化財(22~23)
- 県指定文化財(12~14)

注) 図中の番号は、表3-73(1)~(5)に対応する。

出典：「仙台市の文化財（指定文化財及び登録文化財）の種類と数」（令和5年8月閲覧、仙台市教育委員会文化財課）
「多賀城市の文化財（指定文化財）」（令和5年8月閲覧、多賀城市教育委員会）

図3-29 指定文化財等の分布状況

S=1/50,000
0 0.5 1.0 1.5 2.0km



(4)埋蔵文化財包蔵地（遺跡）

調査範囲における埋蔵文化財包蔵地（遺跡）の分布状況は、表3-74及び図3-30に示すとおりであり、城跡、遺跡及び窯跡等が存在する。このうち、計画地内には令和元年度に登録された高江遺跡が、計画地北西側の区画整理事業地内には令和3年度に登録された今市東遺跡が存在する。

高江遺跡については、隣接地とともに令和3年度に試掘・確認調査が実施されており、「高江遺跡及び隣接地、鴻ノ巣遺跡隣接地、今市遺跡隣接地、稲荷館跡隣接地 発掘調査（試掘・確認調査）概要報告」によると、弥生時代の水田跡が発見され、総数1700点以上の弥生時代中期の土器・石器が出土している。

また、今市東遺跡については、令和3年度に試掘調査が、令和4年度に本掘調査が実施されており、「今市東遺跡」（仙台市教育委員会）によると、弥生時代中期に属すると考えられる土器・石器等が約200点出土し、その下層からは土坑12基が発見されているほか、古代以降の東西に延びる溝跡2条及び中近世以降の井戸跡1基、土坑1基も発見されている。

表3-74 埋蔵文化財包蔵地（遺跡）の状況

No.	名称	所在地	No.	名称	所在地
1	岩切城跡	仙台市 岩切字入山ほか	32	大日北遺跡	多賀城市 高橋字大日北
2	東光寺遺跡	宮城野区 岩切字入山,台屋敷	33	市川橋遺跡	市川・浮島・高崎
3	若宮前遺跡	岩切字若宮前	34	特別史跡多賀城跡	市川・浮島
4	洞ノ口遺跡	岩切字洞ノ口,青津目	35	大日南遺跡	高橋四丁目
5	今市遺跡	岩切字三所北	36	羽黒前遺跡	利府町 神谷沢字金沢ほか
6	鴻ノ巣遺跡	岩切字鴻ノ巣	37	館ノ内遺跡	神谷沢字館ノ内ほか
7	岩切畑中遺跡	岩切字稲荷西	38	南沢遺跡	神谷沢字南沢
8	燕沢遺跡	燕沢東三丁目ほか	39	塚元古墳	菅谷字塚元・赤坂
9	小鶴城跡	新田三丁目	40	西天神遺跡	菅谷字西天神
10	善心寺横穴墓群	燕沢二丁目	41	産野原遺跡	菅谷字産野原
11	大蓮寺窯跡	東仙台六丁目	42	伊豆佐比賣神社遺跡	菅谷字長者
12	安養寺下瓦窯跡	東仙台六丁目	43	北沢横穴墓群	神谷沢字北沢
13	安養寺中圃窯跡	安養寺三丁目	44	笠菅沢遺跡	菅谷字笠菅沢
14	安養寺配水場前窯跡	安養寺三丁目	45	穴ヶ沢遺跡	菅谷字穴ヶ沢
15	榊江遺跡	榊江	46	東天神遺跡	菅谷字廻
16	神明社窯跡	榊江	47	菅谷館跡	菅谷字廻
17	与兵衛沼窯跡	小松島新堤ほか	48	穴薬師麿崖仏南馬場崎横穴墓群	菅谷字馬場崎
18	庚申前窯跡	二の森	49	菅谷薬師神社横穴墓群	菅谷字山苗代・字廻字南熊野前
19	鶴巻遺跡	鶴巻一丁目・二丁目	50	馬場崎B遺跡	菅谷字馬場崎
20	中野高柳遺跡	中野字高柳ほか	51	馬場崎遺跡	菅谷字馬場崎
21	高江遺跡	岩切字高江	52	北熊野前遺跡	菅谷字北熊野前
22	今市東遺跡	岩切字今市東	53	法印塚遺跡	菅谷字新山苗代
23	松森城跡	仙台市 松森字内町ほか	54	山苗代遺跡	菅谷字山苗代
24	住吉遺跡	泉区 南光台東	55	山岸遺跡	沢乙字山岸
25	長岫遺跡	南光台東二丁目	56	前田遺跡	沢乙字前田
26	新田遺跡	多賀城市 新田・山王・南宮	57	八幡崎A遺跡	沢乙字高嶋前
27	安楽寺遺跡	新田字上・南安楽寺	58	八幡崎B遺跡	利府字八幡崎
28	山王遺跡	山王・南宮・市川	59	北窪遺跡	加瀬字北窪
29	特別史跡山王遺跡	山王字千刈田	60	天形遺跡	加瀬字天形
30	内館跡	南宮	61	窪遺跡	加瀬字東ヶ窪
31	山地田館跡	山王	62	加瀬遺跡群	加瀬字松崎・字稲葉崎・字台城

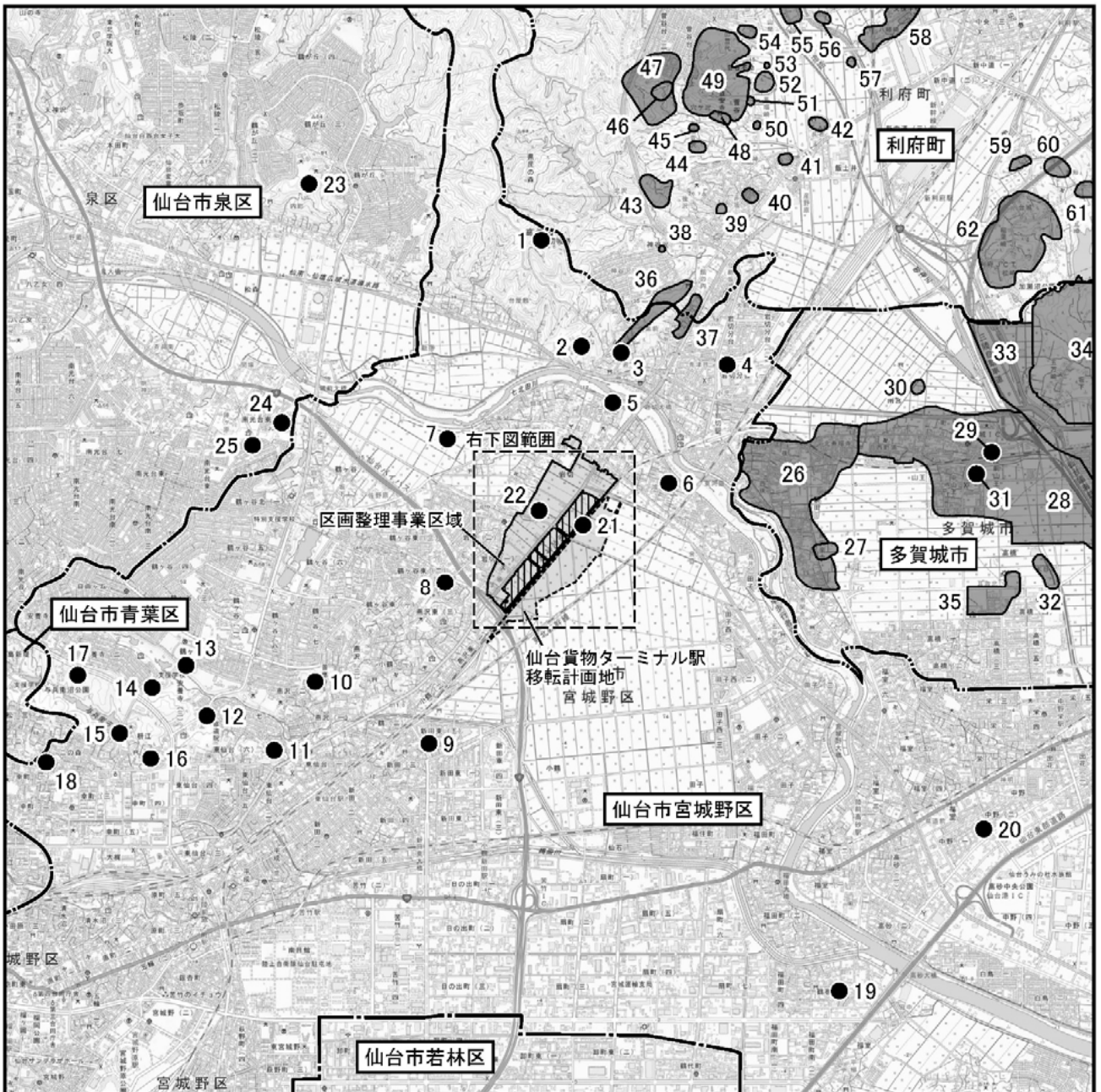
注) No.は、図3-30に対応する。

出典：「仙台市の遺跡」（令和元年7月閲覧、仙台市教育委員会文化財課）

「文化財年報43 令和3年度」（平成4年9月、仙台市教育委員会）

「多賀城市遺跡地図」（平成28年3月4日、多賀城市教育委員会）

「埋蔵文化財包蔵地一覧表」「遺跡地図」（令和5年7月21日更新、利府町生涯学習課）



凡 例

- 計画地
- 市町界
- 区 界
- 埋蔵文化財包蔵地

注) 図中の番号は、表3-74に対応する。
 出典：「仙台市の遺跡」(令和元年7月閲覧、仙台市教育委員会文化財課)
 「文化財年報43(令和4年度刊行)」(仙台市教育委員会文化財課)
 「多賀城市遺跡地図」(平成28年3月4日、多賀城市教育委員会)
 「埋蔵文化財遺跡一覧」「遺跡地図」
 (令和5年7月21日更新、利府町生涯学習課)
 「仙台市都市計画情報インターネットサービス」
 (令和5年9月閲覧、仙台市)

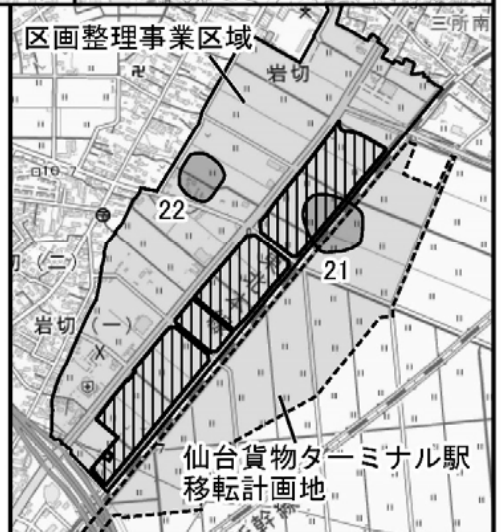


図3-30 埋蔵文化財包蔵地(遺跡)の分布状況

S=1/50,000
 0 0.5 1.0 1.5 2.0km



3.2 社会的状況等

3.2.1 人口及び産業

(1)人口

仙台市全体、仙台市宮城野区、多賀城市及び利府町の令和4年12月末日の人口・世帯数及び人口密度は表3-75に示すとおりである。

仙台市全体が人口1,067,486人、世帯数537,584世帯、人口密度1,357.5人/km²、仙台市宮城野区が人口189,431人、世帯数97,546世帯、人口密度3,252.0人/km²、多賀城市が人口62,204人、世帯数28,063世帯、人口密度3,159.2人/km²、利府町が人口35,960人、世帯数14,035世帯、人口密度801.1人/km²となっている。

また、人口及び世帯数の推移は表3-76に示すとおり、仙台市の人口は概ね増加傾向であるが、それ以外の市区町の人口は横ばいあるいは減少している。一世帯あたりの人員は減少傾向となっている。

表3-75 人口・世帯数及び人口密度

市区町	人口(人)			世帯数 (世帯)	人口密度 (人/km ²)
	総数	男	女		
仙台市	1,067,486	516,324	551,162	537,584	1,357.5
宮城野区	189,431	92,407	97,024	97,546	3,252.0
多賀城市	62,204	30,865	31,339	28,063	3,159.2
利府町	35,960	17,726	18,234	14,035	801.1

注) 令和4年12月末日現在 人口密度は、国土地理院公表の令和3年10月1日時点の面積を利用して算出した。
出典：「宮城県推計人口（年報）」（令和5年8月閲覧、宮城県ホームページ）

表3-76 人口・世帯数の推移

市区町	年次	人口 (人)	世帯数 (世帯)	世帯あたり人員 (人/世帯)
仙台市	平成30	1,062,585	510,960	2.08
	令和元	1,064,060	517,251	2.06
	令和2	1,065,932	523,649	2.04
	令和3	1,065,365	529,151	2.01
	令和4	1,067,486	537,584	1.99
宮城野区	平成30	190,079	2.04	2.04
	令和元	190,215	2.02	2.10
	令和2	190,567	1.99	2.08
	令和3	190,228	1.97	2.06
	令和4	189,431	1.94	2.04
多賀城市	平成30	62,485	26,921	2.32
	令和元	62,416	27,219	2.29
	令和2	62,311	27,454	2.27
	令和3	62,136	27,647	2.25
	令和4	62,204	28,063	2.22
利府町	平成30	36,168	13,284	2.72
	令和元	36,090	13,451	2.68
	令和2	36,027	13,685	2.63
	令和3	36,074	13,862	2.60
	令和4	35,960	14,035	2.56

注) 各年12月末現在

出典：「住民基本台帳人口及び世帯数」（令和5年8月閲覧、宮城県ホームページ）

仙台市、仙台市宮城野区、多賀城市及び利府町の人口動態の推移は、表3-77に示すとおりである。

令和3年の自然動態は、仙台市全体で2,413人（うち、宮城野区で115人）、多賀城市で114人、利府町で16人の減少であった。また、社会動態は、仙台市全体で1,846人の増加、宮城野区で224人、多賀城市で61人の減少、利府町で63人の増加であった。

表3-77 人口動態の推移

市区町	年次	自然動態（人）			社会動態（人）			人口増減数（人）
		出生者数	死亡者数	増減数	転入者数	転出者数	増減数	
仙台市	平成29	8,729	8,825	-96	69,356	67,232	2,124	2,028
	平成30	8,495	9,001	-506	68,815	66,269	2,546	2,040
	令和元	7,864	9,131	-1,270	68,533	65,788	2,745	1,475
	令和2	7,290	9,208	-1,288	67,066	63,906	3,160	1,872
	令和3	7,381	9,794	-2,413	64,256	62,409	1,846	567
宮城野区	平成29	1,909	1,501	408	13,955	14,129	-174	234
	平成30	1,843	1,510	333	13,813	13,844	-31	302
	令和元	1,684	1,523	161	13,766	13,791	-25	136
	令和2	1,694	1,453	-1,288	13,483	13,372	111	352
	令和3	1,519	1,634	-115	12,955	13,179	-224	-339
多賀城市	平成29	536	544	-8	4,107	4,133	-26	-34
	平成30	597	556	41	4,161	4,191	-30	11
	令和元	514	544	-30	4,053	4,092	-39	-69
	令和2	473	512	-39	4,030	4,096	-66	-105
	令和3	474	588	-114	3,968	4,029	-61	-175
利府町	平成29	294	233	61	1,429	1,527	-98	-37
	平成30	279	270	9	1,506	1,597	-91	-82
	令和元	254	301	-47	1,483	1,514	-31	-78
	令和2	230	260	-30	1,423	1,456	-33	-63
	令和3	253	269	-16	1,465	1,402	63	47

注) 各年12月末日現在

出典：「平成30～令和4年版 宮城県統計年鑑」（宮城県）

(2) 産業

平成27年及び令和2年の国勢調査（各年10月1日現在）による、仙台市、多賀城市及び利府町の産業分類別就業者数及び構成比は、表3-78(1)～(3)に示すとおりである。

仙台市の令和2年における全就業者数は502,190人であり、第一次産業が3,853人（約0.8%）、第二次産業が77,560人（約15.9%）、第三次産業が406,208人（約83.3%）、分類不能の産業が14,569人（約3.0%）、就業者数の最も多い産業は「卸売業，小売業」（約19.1%）であった。構成比は、平成27年から令和2年にかけて、第一次産業は変わらず、第二次産業では0.6%減、第三次産業では0.6%増であった。

多賀城市の令和2年における全就業者数は28,387人であり、第一次産業が287人（約1.0%）、第二次産業が5,604人（約20.4%）、第三次産業が21,613人（約78.6%）、分類不能の産業が883人（約3.2%）であった。構成比は、平成27年から令和2年にかけて、第一次産業では0.2%減、第二次産業では0.9%減、第三次産業では1.0%増であった。

利府町の令和2年における全就業者数は12,675人であり、第一次産業が310人（約1.8%）、第二次産業が3,839人（約22.8%）、第三次産業が12,675人（約75.3%）、分類不能の産業が144人（約0.9%）であった。構成比は、平成27年から令和2年にかけて、第一次産業では0.1%減、第二次産業では0.3%減、第三次産業では0.4%増であった。

表3-78(1) 産業分類別就業者数（仙台市）

産業分類(大分類)		平成27年		令和2年	
		就業者数 (人)	構成比 ^{※2} (%)	就業者数 (人)	構成比 ^{※2} (%)
第一次産業	農業	3,471	0.7	3,579	0.7
	林業	162	0.0	188	0.0
	漁業	84	0.0	86	0.0
	小計	3,717	0.8	3,853	0.8
第二次産業	鉱業，採石業，砂利採取業	67	0.0	57	0.0
	建設業	44,748	9.6	44,456	9.1
	製造業	32,223	6.9	33,047	6.8
	小計	77,038	16.5	77,560	15.9
第三次産業	電気・ガス・熱供給・水道業	4,481	1.0	4,874	1.0
	情報通信業	17,762	3.8	19,511	4.0
	運輸業，郵便業	26,926	5.8	28,183	5.8
	卸売業，小売業	94,156	20.2	93,164	19.1
	金融業，保険業	14,619	3.1	14,394	3.0
	不動産業，物品賃貸業	15,279	3.3	15,870	3.3
	学術研究，専門・技術サービス業	19,950	4.3	21,284	4.4
	宿泊業，飲食サービス業	31,015	6.6	30,488	6.3
	生活関連サービス業，娯楽業	17,216	3.7	17,462	3.6
	教育，学習支援業	29,961	6.4	32,071	6.6
	医療，福祉	57,503	12.3	66,004	13.5
	複合サービス事業	3,123	0.7	2,854	0.6
	サービス業（他に分類されないもの）	34,403	7.4	39,200	8.0
	公務（他に分類されるものを除く）	19,613	4.2	20,849	4.3
	小計	386,007	82.7	406,208	83.3
—	分類不能の産業	12,577	2.7	14,569	3.0
総数 ^{※1}	479,339	-	502,190	-	
総数から「不詳」を除いた数（第一～三次産業の合計）		466,762	100.0	487,621	100.0

※1 「不詳」を含むため、内訳を合計しても総数に一致しない。

※2 総数から「不詳」を除いた数（第一～三次産業の合計）を分母として算出。

出典：「都道府県・市区町村別の主な結果(国勢調査) 平成27年、令和2年」（政府統計の総合窓口(e-Stat)）

<https://www.e-stat.go.jp/stat-search/files?page=1&toukei=00200521&tstat=000001049104>

表3-78(2) 産業分類別就業者数 (多賀城市)

産業分類(大分類)		平成27年		令和2年	
		就業者数 (人)	構成比 ^{※2} (%)	就業者数 (人)	構成比 ^{※2} (%)
第一次産業	農業	296	1.0	256	0.9
	林業	8	0.0	9	0.0
	漁業	24	0.1	22	0.1
	小計	328	1.2	287	1.0
第二次産業	鉱業, 採石業, 砂利採取業	10	0.0	0	0.0
	建設業	3,158	11.1	2,851	10.4
	製造業	2,871	10.1	2,753	10.0
	小計	6,039	21.3	5,604	20.4
第三次産業	電気・ガス・熱供給・水道業	263	0.9	181	0.7
	情報通信業	508	1.8	500	1.8
	運輸業, 郵便業	2,653	9.3	2,670	9.7
	卸売業, 小売業	5,147	18.1	4,951	18.0
	金融業, 保険業	569	2.0	507	1.8
	不動産業, 物品賃貸業	658	2.3	619	2.3
	学術研究, 専門・技術サービス業	866	3.0	838	3.0
	宿泊業, 飲食サービス業	1,585	5.6	1,462	5.3
	生活関連サービス業, 娯楽業	1,007	3.5	908	3.3
	教育, 学習支援業	1,133	4.0	1,186	4.3
	医療, 福祉	2,874	10.1	3,135	11.4
	複合サービス事業	185	0.7	162	0.6
	サービス業 (他に分類されないもの)	2,099	7.4	2,319	8.4
	公務 (他に分類されるものを除く)	2,497	8.8	2,175	7.9
小計	22,044	77.6	21,613	78.6	
—	分類不能の産業	1,051	3.7	883	3.2
総数 ^{※1}		29,462	-	28,387	-
総数から「不詳」を除いた数 (第一～三次産業の合計)		28,411	100.0	27,504	100.0

※1 「不詳」を含むため、内訳を合計しても総数に一致しない。

※2 総数から「不詳」を除いた数 (第一～三次産業の合計) を分母として算出。

出典: 「都道府県・市区町村別の主な結果(国勢調査) 平成27年、令和2年」(政府統計の総合窓口(e-Stat))

<https://www.e-stat.go.jp/stat-search/files?page=1&toukei=00200521&tstat=000001049104>

表3-78(3) 産業分類別就業者数 (利府町)

産業分類(大分類)		平成27年		令和2年	
		就業者数 (人)	構成比※2 (%)	就業者数 (人)	構成比※2 (%)
第一次産業	農業	305	1.8	295	1.8
	林業	7	0.0	3	0.0
	漁業	24	0.1	12	0.1
	小計	336	1.9	310	1.8
第二次産業	鉱業, 採石業, 砂利採取業	3	0.0	5	0.0
	建設業	1,950	11.2	1,821	10.8
	製造業	2,077	11.9	2,013	12.0
	小計	4,030	23.1	3,839	22.8
第三次産業	電気・ガス・熱供給・水道業	139	0.8	131	0.8
	情報通信業	332	1.9	311	1.8
	運輸業, 郵便業	1,463	8.4	1,413	8.4
	卸売業, 小売業	3,282	18.8	3,155	18.8
	金融業, 保険業	327	1.9	278	1.7
	不動産業, 物品賃貸業	298	1.7	280	1.7
	学術研究, 専門・技術サービス業	499	2.9	465	2.8
	宿泊業, 飲食サービス業	892	5.1	830	4.9
	生活関連サービス業, 娯楽業	669	3.8	578	3.4
	教育, 学習支援業	1,002	5.8	994	5.9
	医療, 福祉	1,958	11.2	2,114	12.6
	複合サービス事業	118	0.7	102	0.6
	サービス業(他に分類されないもの)	1,223	7.0	1,252	7.4
	公務(他に分類されるものを除く)	854	4.9	772	4.6
	小計	13,056	74.9	12,675	75.3
—	分類不能の産業	221	1.3	144	0.9
総数※1		17,643	-	16,968	-
総数から「不詳」を除いた数(第一～三次産業の合計)		17,422	100.0	16,824	100.0

※1 「不詳」を含むため、内訳を合計しても総数に一致しない。

※2 総数から「不詳」を除いた数(第一～三次産業の合計)を分母として算出。

出典:「都道府県・市区町村別の主な結果(国勢調査)平成27年、令和2年」(政府統計の総合窓口(e-Stat))

<https://www.e-stat.go.jp/stat-search/files?page=1&toukei=00200521&tstat=000001049104>

3.2.2 土地利用

(1)土地利用状況

仙台市、多賀城市及び利府町における地目別面積の推移は、表3-79に示すとおりである。

令和3年の仙台市の総面積は78,635haであり、地目別面積は森林が45,032ha（約57%）と最も多く、次いで宅地13,015ha（約17%）、その他6,577ha（約8%）となっている。平成29年からの推移をみると、宅地は増加傾向にあり、農地は減少している。

令和3年の多賀城市の総面積は1,969haであり、地目別面積は宅地が873ha（約44%）と最も多く、次いでその他375ha（約19%）、農地318ha（約16%）となっている。平成29年からの推移をみると、農地が減少している。

令和3年の利府町の総面積は4,489haであり、地目別面積は森林が2,146ha（約48%）と最も多く、次いでその他986ha（約22%）、宅地544ha（約12%）、農地376ha（約8%）となっている。平成29年からの推移をみると、宅地が増加し、農地が減少している。

計画地は、区画整理事業区域内の東側に位置し、西側は仙台松島線に、東側はJR東北本線に、南側は国道4号に、北側は県道今市福田線に面している。区画整理事業区域は、現在、全域において造成中である。また、JR東北本線を挟んで東側は仙台貨物ターミナル駅移転計画の計画地となっており、ここも全域において造成中である。

表3-79 地目別面積の推移

単位：ha

市町	年次	合計	農地	森林	原野等	水面・河川・水路	道路	宅地	その他
仙台市	平成29	78,630	6,000	45,263	1	2,606	5,559	12,965	6,236
	平成30	78,630	5,920	45,049	1	2,606	5,568	12,968	6,518
	令和元	78,636	5,850	45,036	1	2,606	5,587	12,988	6,568
	令和2	78,635	5,820	44,965	1	2,587	5,566	13,023	6,673
	令和3	78,635	5,790	45,032	1	2,587	5,633	13,015	6,577
多賀城市	平成29	1,969	334	59	0	126	218	869	363
	平成30	1,969	330	51	0	127	220	867	374
	令和元	1,969	325	51	0	127	222	867	377
	令和2	1,969	322	51	0	127	223	868	378
	令和3	1,969	318	51	0	126	226	873	375
利府町	平成29	4,489	426	2,232	8	90	338	514	881
	平成30	4,489	398	2,168	8	89	338	517	976
	令和元	4,489	387	2,168	8	88	339	534	965
	令和2	4,489	387	2,146	8	88	340	510	980
	令和3	4,489	376	2,146	8	88	341	544	986

出典：「平成30～令和4年版 宮城県統計年鑑」（宮城県）

(2)用途地域

仙台市、多賀城市及び利府町における都市計画区域の面積は表3-80に、調査範囲の用途地域の指定状況は図3-31に示すとおりである。計画地を含む区画整理事業区域は工業専用地域、東側に隣接する仙台貨物ターミナル駅移転計画地は市街化調整区域である。

表3-80 都市計画区域面積の現況等

単位：ha

種別		仙台市	多賀城市	利府町
都市計画区域		44,296	1,969	4,489
市街化調整区域		26,216	619	3,541
市街化区域		18,080	1,350	948
用途地域	第一種低層住居専用地域	5,458.7	89.2	466.1
	第二種低層住居専用地域	5.9	95.8	4.2
	第一種中高層住居専用地域	733.9	393.3	84.7
	第二種中高層住居専用地域	1,571.9	22.3	24.4
	第一種住居地域	2,956.1	267.9	87.8
	第二種住居地域	2,509.0	29.7	84.8
	準住居地域	64.3	23.7	—
	近隣商業地域	973.1	36.4	58.9
	商業地域	937.5	45.9	6.6
	準工業地域	1,098.1	40.8	29.2
	工業地域	458.8	141.5	49.3
	工業専用地域	1,313.0	163.4	56.3

出典：「宮城の都市計画（資料編）都市計画決定状況等 概要版」（令和4年3月31日現在、宮城県土木部都市計画課）

(3)周辺開発計画

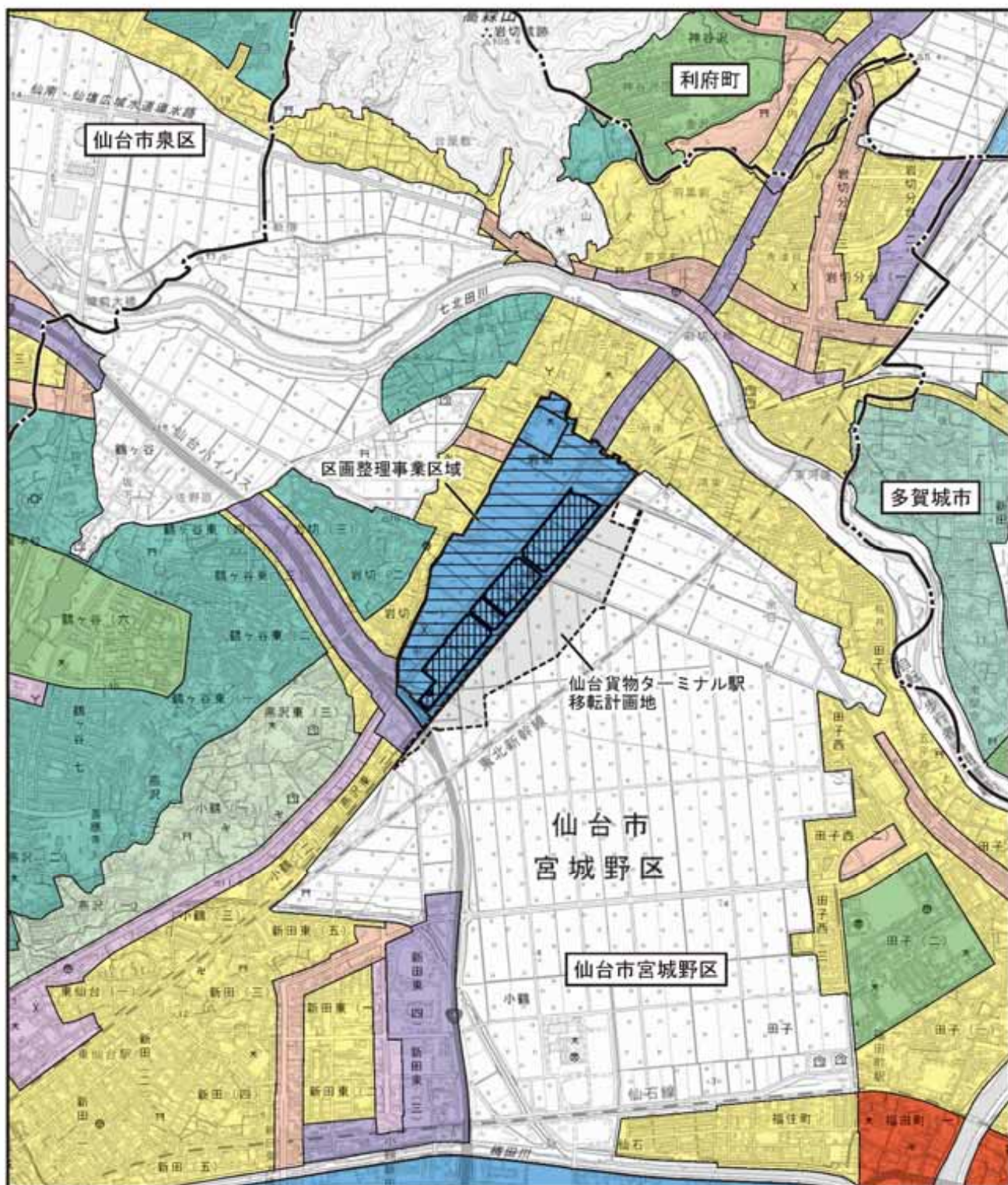
計画地は、現在施行中の区画整理事業区域内に位置しており、区画整理事業の土地収益開始は令和7年9月の予定である。区画整理事業の概要等は、「1.2 対象事業の名称、種類及び目的」及び「1.3 事業実施の位置」の中で述べたとおりである。

また、JR東北本線を挟んで東側は仙台貨物ターミナル駅移転計画の計画地となっており、その位置は、図1-1に示したとおりである。事業概要は表3-81に示すとおりである。

表3-81 仙台貨物ターミナル駅移転計画の概要

項目	内容
事業名称	仙台貨物ターミナル駅移転計画
種類	鉄道の建設事業（貨物駅等の新設）
位置	仙台市宮城野区岩切及び燕沢地内
主要用途	貨物ターミナル駅
敷地面積	約22.6ha
工事期間（令和4年3月時点の工程）	平成29～〔令和7～8〕年度
供用開始（令和4年3月時点の工程）	〔令和7～8〕年度

出典：「環境影響評価書－仙台貨物ターミナル駅移転計画－」（平成29年10月、日本貨物鉄道株式会社）
「仙台貨物ターミナル駅移転計画に係る事業工程の変更について」（令和4年3月、日本貨物鉄道株式会社）



凡例

 計画地	 第一種低層住居専用地域	 第一種住居地域	 準工業地域
 市町界	 第二種低層住居専用地域	 第二種住居地域	 工業地域
 区界	 第一種中高層住居専用地域	 近隣商業地域	 工業専用地域
	 第二種中高層住居専用地域	 商業地域	 市街化調整区域

出典：「仙台市都市計画情報インターネット提供サービス」(令和5年8月閲覧、仙台市)
 「仙塩広域都市計画総括図」(令和4年11月、宮城県)

図3-31 都市計画図

S=1/25,000
 0 200 400 600 800 1,000m



3.2.3 水利用

(1) 水利権の設定及び利水の状況

計画地周辺では、七北田川に農業用の堰や揚水機が設置されており、施設概要は表3-82に、位置は図3-32に示すとおりである。計画地の用水は薄ヶ沢堰にて取水されたものである。

また、計画地周辺の農業用水路等の位置は、図3-33に示すとおりである。

表3-82 農業用水取水施設の概要

河川名	施設名	所在地	取水量 (m ³ /秒)		施設所有者	施設管理者
			代掻き期	普通期		
七北田川	中野堰	多賀城市後新田14	0.8000	0.4300	高砂水利組合	高砂水利組合
	宝堰	仙台市泉区七北田字松森	0.7000	0.6000	多賀城市	宝堰加瀬溜井管理組合
	浦田揚水機	仙台市泉区松森字上河原	0.0200	0.0200	齋藤長志	齋藤長志
	薄ヶ沢堰	仙台市泉区	2.0480	1.4800	仙台市	仙台市岩切土地改良区

出典：「農業用水施設台帳（河川取水施設）改訂五版」（平成20年3月、宮城県農林水産部）

(2) 漁業権の設定の状況

調査範囲で漁業権が設定されている河川及び湖沼はない。

(3) 地下水利用の状況

仙台市、多賀城市及び利府町における事業所用井戸の地下水揚水量は、表3-83に示すとおりである。

表3-83 地下水揚水量

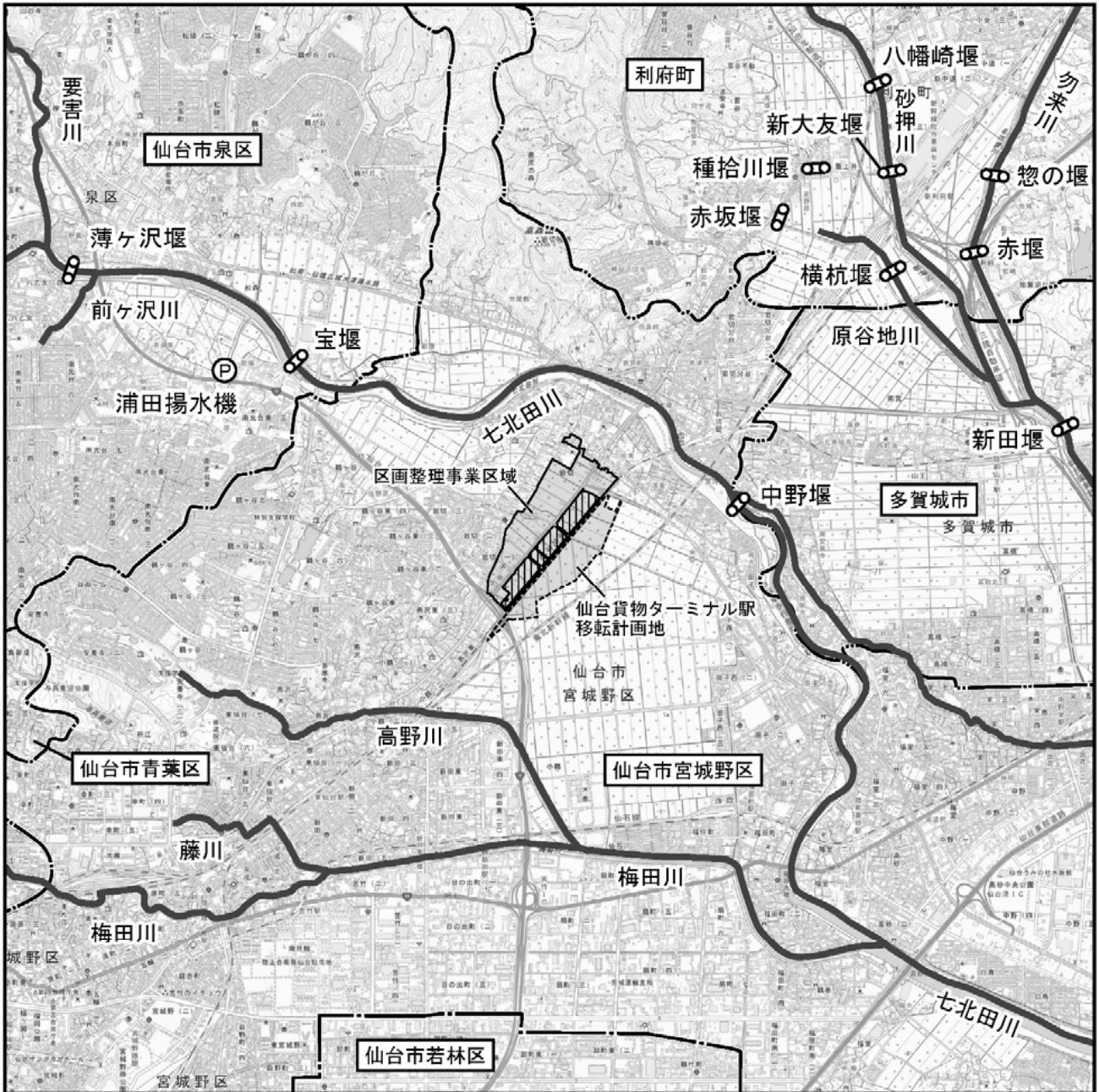
単位：井戸本数 本、揚水量 m³/日

市町名	工業用		建築物用		水道用		農業用		合計	
	井戸本数	揚水量	井戸本数	揚水量	井戸本数	揚水量	井戸本数	揚水量	井戸本数	揚水量
仙台市	0	0	80	525	11	236	30	38	121	799
多賀城市	3	39	2	18	5	1,012	111	11,042	121	12,111
利府町	2	168	12	58	5	4,500	7	447	26	5,173

注1) 仙台市は平成28年度、多賀城市及び利府町は平成8年度の調査である。

注2) 仙台市域分は実態調査ではなく、宮城県公害防止条例に基づき規制区域内で報告義務がある揚水量を集計した値。

出典：「平成28年度 宮城県公害資料（地盤沈下編）」（平成30年6月、宮城県）

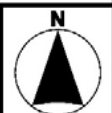
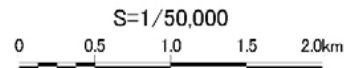


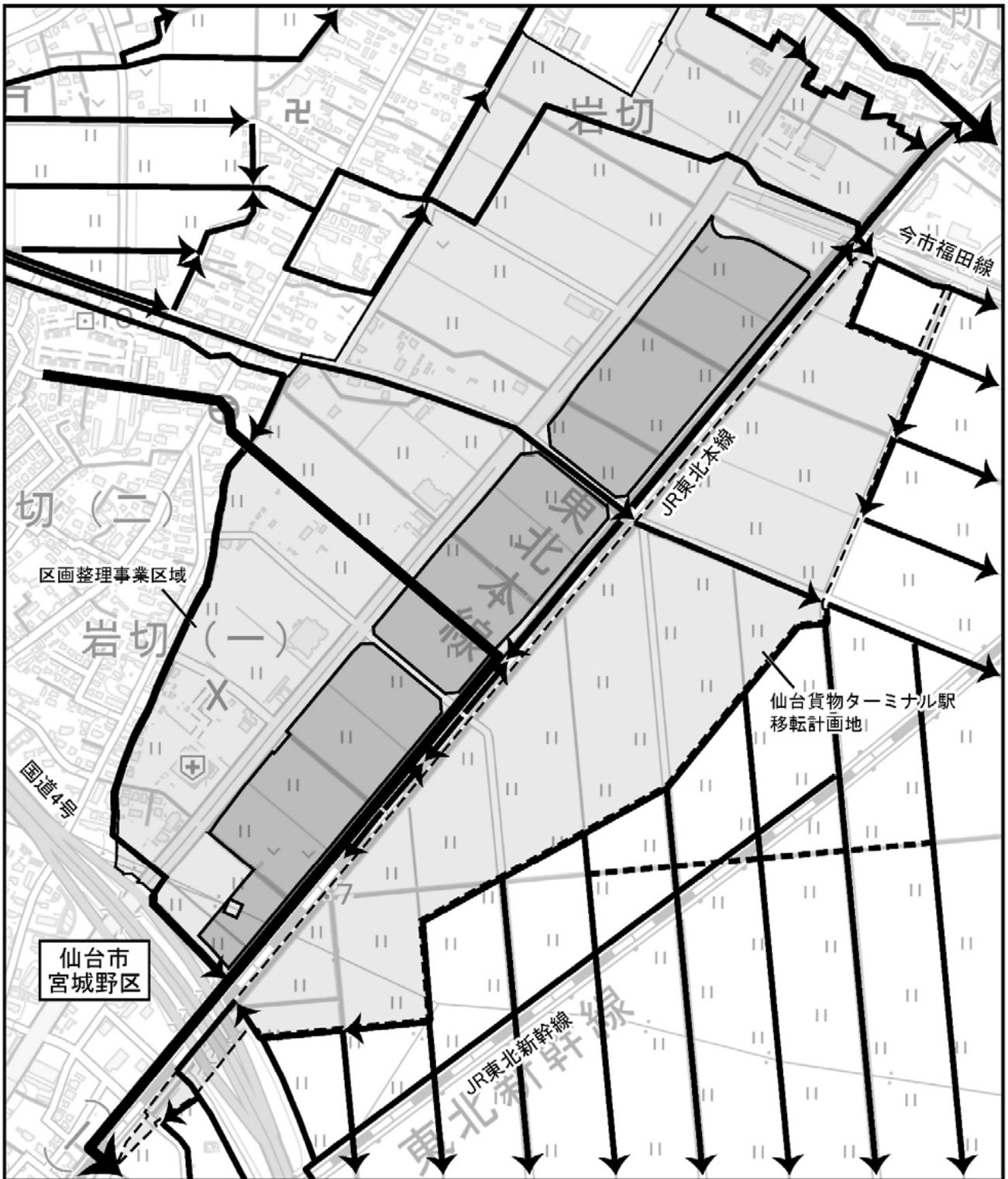
凡例

-  計画地
-  市町界
-  区界
-  河川
-  堰
-  揚水機

出典：「河川取水施設図」(平成20年3月、宮城県農林水産部)

図3-32 河川取水施設位置図



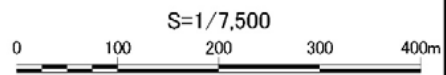


凡 例

- | | |
|---|---|
|  計画地 |  雨水幹線 |
| |  農業用水路 |

注) 令和5年10月現在

図3-33 農業用水路等位置図



3.2.4 社会資本整備等

(1)交通

1)道路・鉄道等の交通網

交通網の状況は、図3-35に示すとおりである。

計画地はJR東北本線の東仙台駅の北東及び岩切駅の南西に位置しており、計画地の東側に沿ってJR東北本線が通っている。道路は、計画地の南端には南から北西にかけて国道4号が、中央には縦断するように仙台松島線が通っている。なお、県道今市福田線は、将来的には都市計画道路鶴ヶ谷仙台港線と接続する予定である。

2)交通量

ア. 鉄道

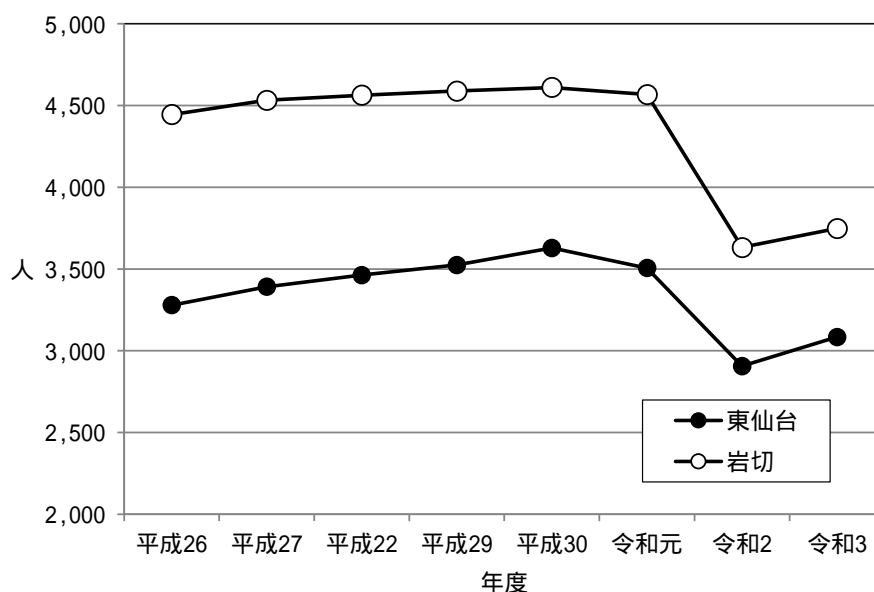
計画地の最寄り駅としては、JR東北本線の東仙台駅及び岩切駅が存在している。各駅における乗車人数は、表3-84及び図3-34に示すとおりであり、令和3年度における一日の平均乗車人数は、東仙台駅が3,084人、岩切駅が3,748人である。平成26～令和3年度の乗車人数の推移をみると、東仙台駅、岩切駅ともに、令和元年度までやや増加しているが、令和2年度に約80%まで利用者が落ち込んでいる。

表3-84 東仙台駅及び岩切駅の乗車人数の推移（一日平均乗車人数）

単位：人

路線名	駅名	年度							
		平成26	平成27	平成22	平成29	平成30	令和元	令和2	令和3
JR東北本線	東仙台	3,279	3,391	3,463	3,524	3,628	3,506	2,906	3,084
	岩切	4,445	4,532	4,563	4,588	4,610	4,567	3,632	3,748

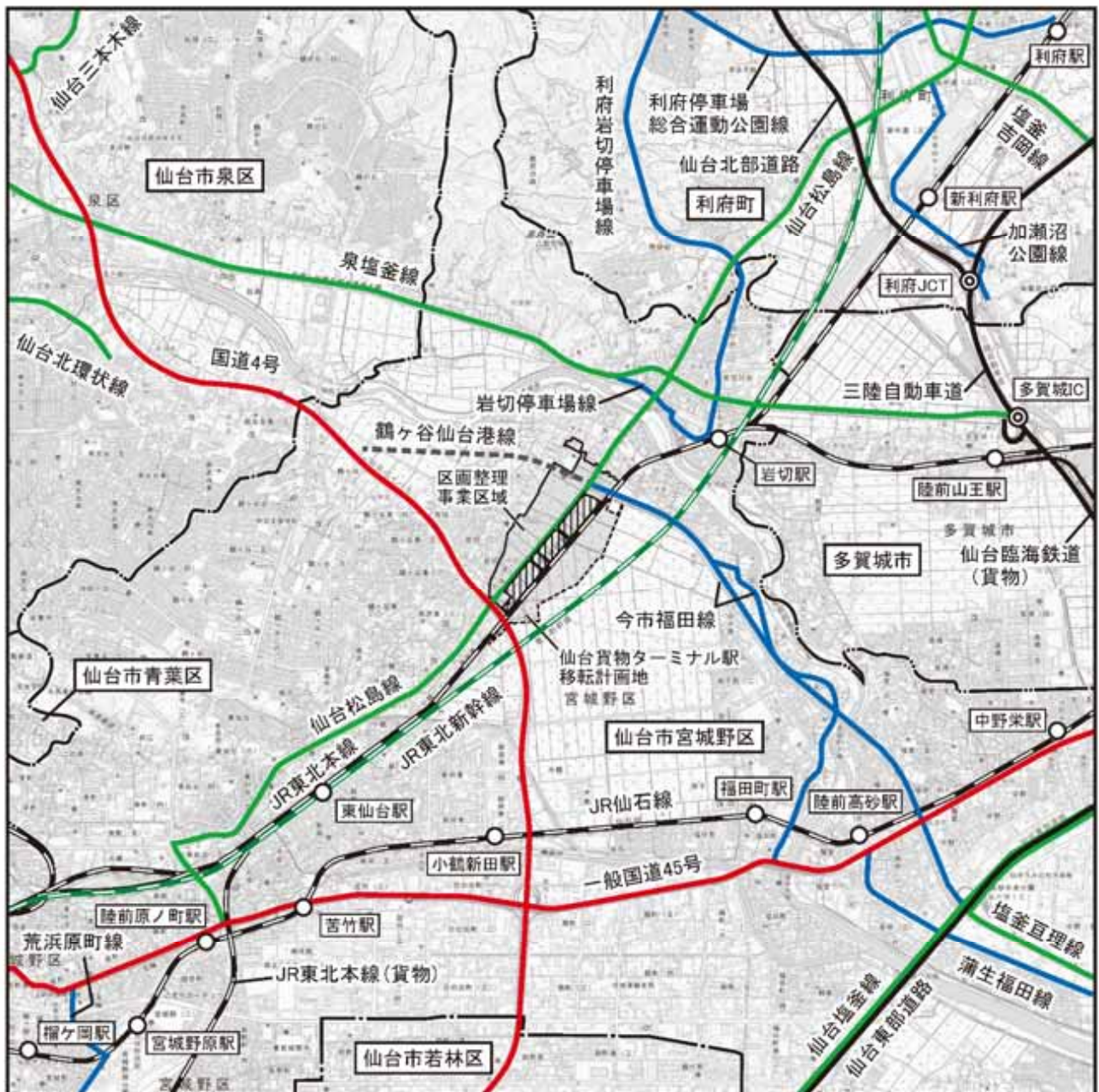
出典：「仙台市統計書 令和4年版」（仙台市）、「仙台市統計書 令和3年版」（仙台市）



出典：「仙台市統計書 令和4年版」（仙台市）

「仙台市統計書 令和3年版」（仙台市）

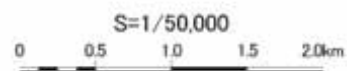
図3-34 東仙台駅及び岩切駅の乗車人数の推移



凡例

- | | |
|--------|--------|
| 計画地 | JR新幹線 |
| 市町界 | JR在来線 |
| 区界 | 仙台臨海鉄道 |
| 高速道路 | |
| 国道 | |
| 主要地方道 | |
| 県道 | |
| 都市計画道路 | |

図3-35 交通網図



イ. 道路

仙台市による自動車交通量の調査地点は図3-36に、令和3年の自動車交通量調査結果は表3-85に示すとおりである。

平日12時間交通量は、燕沢交差点（No.2）で74,925台、今市東交差点（No.6）で38,734台となっている。

平成29年の交通量に対して令和3年の交通量が増加したのは、今市橋交差点（No.4）のみであり、その他の交差点において交通量は減少している。

表3-85 自動車交通量調査結果（令和3年度：平日）



No.	交差点名称	12時間交通量（台）						12時間交通量 伸び率 (令和3年度/ 平成29年度)
		二輪車	小型 貨物車	乗用車	大型 貨物車	バス	自動車類 計	
1	鶴ヶ谷	605	9,232	38,271	6,908	221	54,632	0.93
2	燕沢	702	12,417	52,807	9,464	287	74,925	0.89
3	小鶴	679	10,830	44,783	9,009	214	64,836	0.90
4	今市橋	487	4,346	24,546	1,299	101	30,292	1.02
5	洞ノ口	516	7,200	37,610	5,614	161	50,585	0.96
6	今市東	348	4,937	27,605	6,101	91	38,734	0.89
7	田子	295	3,289	18,219	3,407	82	24,997	0.94
8	鶴が丘団地入口	304	4,810	27,098	1,855	114	33,877	0.97

注) No.は、図3-36に対応する。

出典：「交差点交通量調査データ(平成29、令和3年度)」（仙台市都市整備局交通政策課）



凡例

-  計画地
-  市町界
-  区界
-  調査地点

出典：「交差点交通量調査(令和3年度)」(仙台市都市整備局)

図3-36 交通量調査地点図

S=1/25,000
0 200 400 600 800 1,000m



(2) 上水道・下水道等

1) 上水道

仙台市、多賀城市及び利府町の水道施設状況は表3-86に、水道普及状況の推移は表3-87に示すとおりである。

仙台市、多賀城市及び利府町においては、給水人口の大部分を上水道でまかなっており、令和3年度の水道普及率は仙台市が99.7%、多賀城市が100.0%、利府町が100.0%である。

調査範囲は全域給水区域になっており、仙台市域は宮床ダム及び七北田ダムを取水源とし福岡浄水場から配水、釜房ダムを取水源とし茂庭浄水場から配水されている。多賀城市域は、セヶ宿ダムを取水源とし南部山浄水場から仙南・仙塩広域水道を経て配水、市内の4ヶ所の井戸を取水源とし、仙台市からの分水を受け、末の松山浄水場から配水されている。利府町域は、4ヶ所の井戸から取水し利府浄水場と仙南・仙塩広域水道からの受水により配水されている。

表3-86 水道施設の状況（令和3年度）

市町	項目		箇所数*1 (ヶ所)	計画給水人口又は 確認時給水人口 (人)	現在給水人口 (人)
仙台市	行政区画内総人口(人)		1,059,496		
	水道施設	上水道	1(0)	1,059,700	1,059,286
		簡易水道	0	0	0
		専用水道(自己水源のみ)	8	460	210
		専用水道(上記以外)	48	16,888	3,626
		合計*2	57(0)	1,060,160	1,059,196
普及率(%)*3		99.7			
多賀城市	行政区画内総人口(人)		61,890		
	水道施設	上水道	2(1)	70,070	61,887
		簡易水道	0	0	0
		専用水道(自己水源のみ)	0	0	0
		専用水道(上記以外)	2	1,600	0
		合計*2	4(1)	70,070	61,887
普及率(%)*3		100.0			
利府町	行政区画内総人口(人)		36,037		
	水道施設	上水道	1(0)	38,400	36,037
		簡易水道	0	0	0
		専用水道(自己水源のみ)	0	0	0
		専用水道(上記以外)	2	355	60
		合計*2	3(0)	38,400	36,037
普及率(%)*3		100.0			

※1 上水道及び簡易水道：計画給水人口 専用水道：確認時給水人口

※2 「計画給水人口または確認時給水人口」及び「給水人口」の「合計」においては、「専用水道(上記以外)」を含まない。

※3 「普及率」＝「現在給水人口」/「行政区画内総人口」×100

注) ()内は、広域水道及び近隣市町村の行政区域外給水を受けている地域数を示す。

出典：「宮城県の水道」（令和5年8月閲覧、宮城県ホームページ）

表3-87 水道普及状況の推移

市町	年度	給水区域人口（人）	給水人口（人）	普及率（%）
仙台市	平成28	1,053,717	1,051,771	99.8
	平成29	1,056,602	1,054,648	99.8
	平成30	1,058,689	1,055,968	99.7
	令和元	1,061,177	1,058,197	99.7
	令和2	1,063,169	1,060,271	99.7
多賀城市	平成28	62,321	62,318	100.0
	平成29	62,171	62,171	100.0
	平成30	62,241	62,238	100.0
	令和元	62,246	62,242	100.0
	令和2	62,154	62,151	100.0
利府町	平成28	35,205	35,205	100.0
	平成29	35,220	35,220	100.0
	平成30	36,054	36,054	100.0
	令和元	35,980	35,980	100.0
	令和2	36,033	36,033	100.0

注) 各年度末時点の数値を示す。

出典：「平成30～令和4年版 宮城県統計年鑑」（宮城県）

2) 下水道

仙台市、多賀城市及び利府町の下水道普及状況の推移は、表3-88に示すとおりである。

令和4年の下水道普及率は、仙台市で98.7%、多賀城市で99.9%、利府町で95.6%である。

表3-88 下水道普及状況の推移

市町	年次	行政区域内人口(人)	処理区域内人口(人)	普及率(%)
仙台市	平成30	1,056,202	1,036,660	98.1
	令和元	1,058,689	1,039,448	98.2
	令和2	1,061,177	1,046,711	98.6
	令和3	1,063,169	1,048,957	98.7
	令和4	1,062,285	1,048,433	98.7
多賀城市	平成30	62,174	62,089	99.9
	令和元	62,241	62,158	99.9
	令和2	62,245	62,170	99.9
	令和3	62,154	62,110	99.9
	令和4	61,890	61,849	99.9
利府町	平成30	36,220	34,608	95.5
	令和元	36,054	34,440	95.5
	令和2	35,980	34,372	95.5
	令和3	36,033	34,429	95.5
	令和4	36,037	34,445	95.6

注) 各年3月31日時点の数値を示す。

出典：「平成30～令和4年度版 宮城県統計年鑑」（宮城県）

3) 工業用水

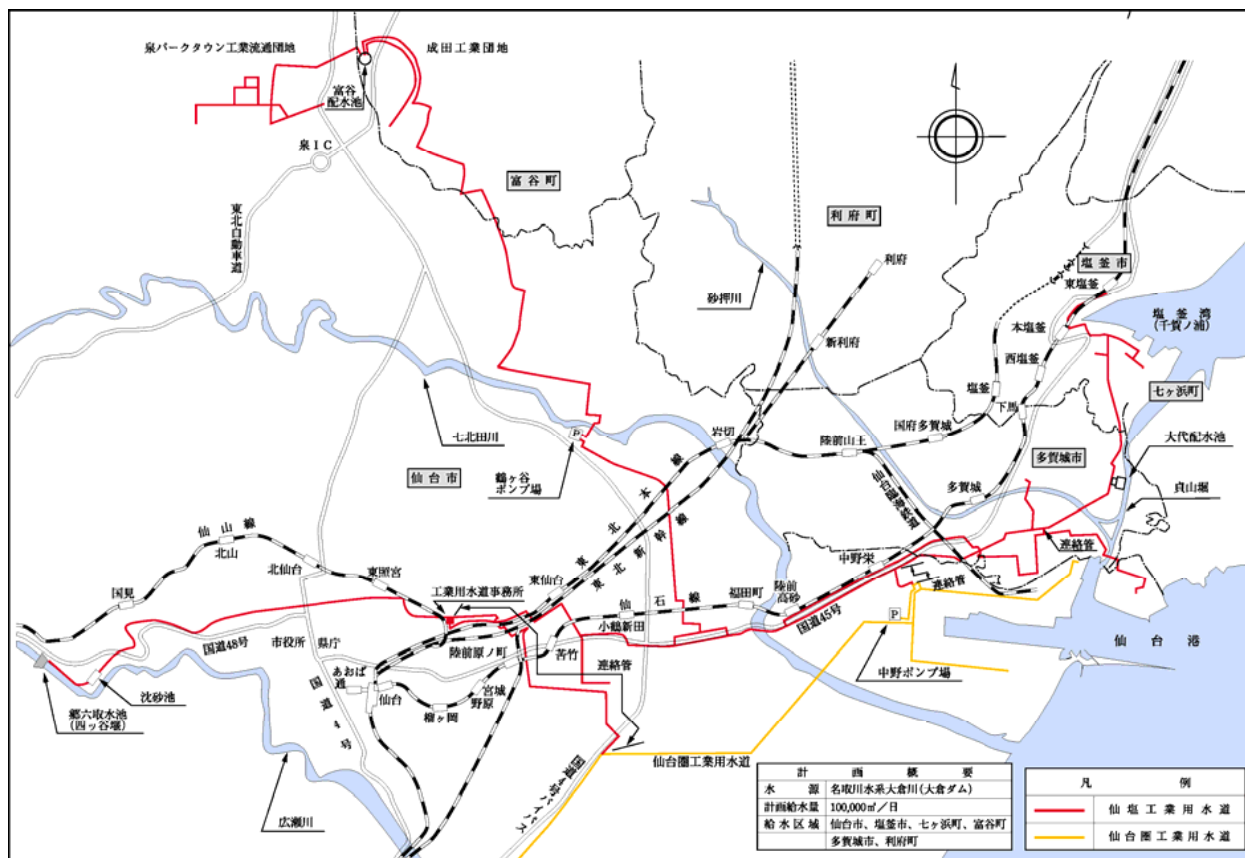
工業用水については、宮城県企業局が行う「仙塩」「仙台圏」「仙台北部」の各工業用水道事業があり、このうち給水区域に仙台市が含まれるものは、仙塩工業用水道事業及び仙台圏工業用水道事業である（表3-89及び図3-37参照）。

仙台圏工業用水道事業では、仙台港背後地の工業開発により既設の仙塩工業用水道事業のみでは需要に応ずる余力がなくなることが見込まれたことから、昭和51年10月に給水を開始し、仙台港背後地のほか、名取市及び利府町にも給水している。

表3-89 工業用水道事業の概要

区分	仙塩工業用水道事業	仙台圏工業用水道事業
水源	一級河川名取川水系大倉川（大倉ダム）	一級河川名取川水系基石川（釜房ダム）
取水	広瀬川四ッ谷堰（仙台市青葉区折立郷六） 大倉ダム放流水 一日最大100,000m ³	名取川頭首工（名取市高館熊野堂） 釜房ダム放流水 一日最大100,000m ³
給水能力	一日最大100,000m ³	一日最大100,000m ³
水質等	(濁度)10度以下 (pH)6.0～8.0	原水供給
給水区域	仙台市・塩竈市・七ヶ浜町・富谷市・多賀城市・利府町・大和町	仙台市・多賀城市・七ヶ浜町・名取市・利府町

出典：「工業用水道事業について（仙塩工業用水道）」（令和3年6月、宮城県水道経営管理室）
「工業用水道事業について（仙台圏工業用水道）」（平成24年9月、宮城県水道経営管理室）



出典：「仙塩工業用水道事業概要図」（令和3年6月、宮城県水道経営管理室）

図3-37 工業用水道事業の概要図

(3) 廃棄物処理施設等

仙台市、多賀城市及び利府町におけるごみ排出量及び処理内訳の推移は、表3-90に示すとおりである。

仙台市の令和3年度におけるごみ排出量は361,199tであり、過去5年間の推移をみると、平成29年度が最も多くなっている。

多賀城市の令和3年度におけるごみ排出量は20,535 tであり、微増減はあるものの、5年間を通してみると減少している。

利府町の令和3年度におけるごみの排出量は、14,154 tであり、平成30年度が最も多くなっている。

このごみ処理の内訳は、仙台市及び多賀城市とも全体の約9割が焼却、約1割が資源化されている。

調査範囲におけるごみ処理施設は表3-91に、産業廃棄物処理業者は表3-92に示すとおりであり、3件の産業廃棄物処理業者（中間処理の許可業者）の処理施設が立地している。また、市町村ごみ処理施設及び産業廃棄物処理業者の設置位置は、図3-38に示すとおりである。

表3-90 ごみ排出量の推移

年度		平成29	平成30	令和元	令和2	令和3	
仙台市	人口（人）	1,086,377	1,088,669	1,090,263	1,097,196	1,097,237	
	ごみ総量	377,595	370,566	373,373	363,336	361,199	
	処理内訳 （t）	焼却	328,502	322,515	326,017	314,499	312,684
		埋立	4,343	3,709	3,857	4,064	3,616
		資源化	44,750	44,342	43,499	44,773	44,899
計		377,595	370,566	326,017	314,499	312,684	
多賀城市	人口（人）	62,174	62,241	62,245	62,154	61,890	
	ごみ総量	21,108	20,923	20,537	20,838	20,535	
	処理内訳 （t）	焼却	18,815	18,715	18,506	18,650	18,261
		埋立	51	57	44	56	39
		資源化	2,242	2,151	1,987	2,132	2,245
計		21,108	20,923	20,537	20,838	20,535	
利府町	人口（人）	36,220	36,054	35,980	36,033	36,037	
	ごみ総量	14,354	14,370	14,228	14,265	14,154	
	処理内訳	焼却	—	—	—	—	—
		埋立	—	—	—	—	—
		資源化	—	—	—	—	—
計		—	—	—	—	—	

出典：「令和4年度 仙台市環境局事業概要」（令和4年8月、仙台市環境局）

「令和3年度版統計書」（令和5年8月閲覧、多賀城市）

「令和4年利府町統計書」（令和4年10月、利府町）

表3-91 ごみ処理施設の概要

No.	施設名	所在地	形式		処理能力	処理方式	
1	松森工場	仙台市泉区 松森字城前135	全連続燃焼式ストーカ炉		600t/日 (200t/24h×3炉)	—	
2	宮城東部衛生 処理組合	利府町加瀬 字新船岡5	ごみ焼却施設		全連続燃焼式 ストーカ炉	180t/日 (90t/24h×2炉)	—
			リサイクル 選別施設	ビン・カン	—	30t/5h	手選別・ 機械選別併設
				ペットボトル	—	1.5t/5h	ペットボトル 減容圧縮機
				プラスチック	—	10t/5h	その他プラスチ ック製容器包装 選別減容器
粗大ごみ処理施設		—	30t/5h	乾式回転式			

注) No.は、図3-38に対応する。

出典：「ごみ処理施設」(令和5年3月8日閲覧、仙台市ホームページ)

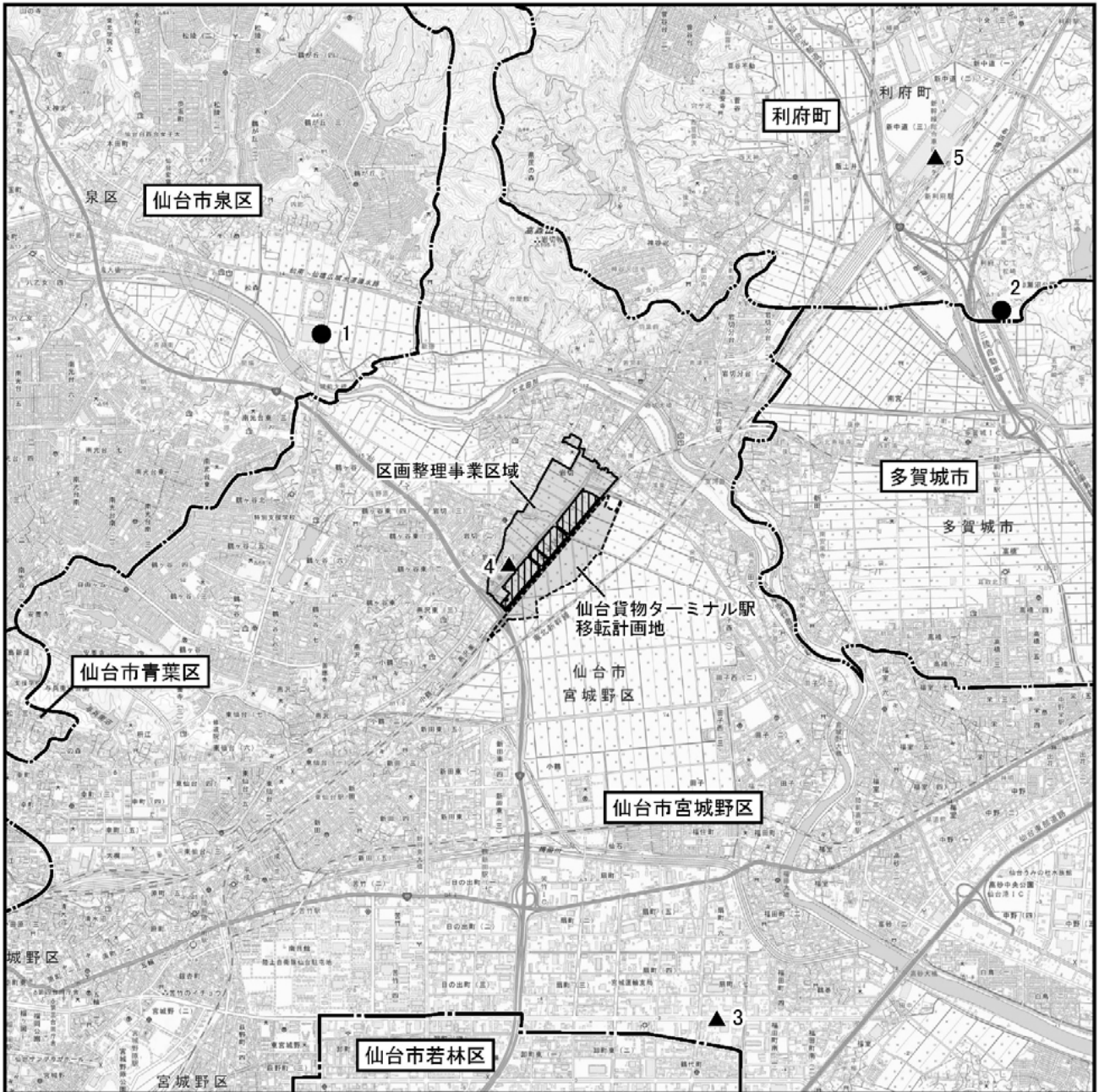
「各施設の概要」(令和5年8月閲覧、宮城東部衛生処理組合ホームページ)

表3-92 産業廃棄物中間処理施設






No.	処理業者名	所在地	産業廃棄物の種類									事業内容	
			汚泥	廃酸	廃アルカリ	廃プラ	動物残さ	金属くず	鉍さい	がれき類	ばいじん		
3	オデッサ・テクノス 株式会社	仙台市宮城野区 扇町7-4-3	○										造粒固化施設 1台
4	栄工業株式会社	仙台市宮城野区岩切 1-227-1、1-228-1	○										脱水施設2台
5	株式会社ジェイアール テクノサービス仙台	利府町利府字新谷地脇 (JR新幹線総合車両 センター内)	○										脱水施設1台

注) No.は、図3-38に対応する。

出典：「産業廃棄物処理業者名簿」(令和4年7月31日現在、宮城県循環型社会推進課)



凡例

-  計画地
-  市町界
-  区界
-  ● ごみ処理施設(1~2)
-  ▲ 産業廃棄物中間処理施設(3~5)

注) 図中の番号は、表3-91~92に対応する。

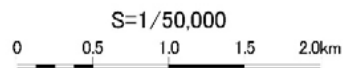
出典：「ごみ処理施設」(令和5年8月閲覧、仙台市ホームページ)

「各施設の概要」(令和5年8月閲覧、宮城東部衛生処理組合ホームページ)

「産業廃棄物処理業者名簿」(令和4年7月31日現在、宮城県循環型社会推進課)

図3-38

ごみ処理施設及び産業廃棄物中間処理施設位置

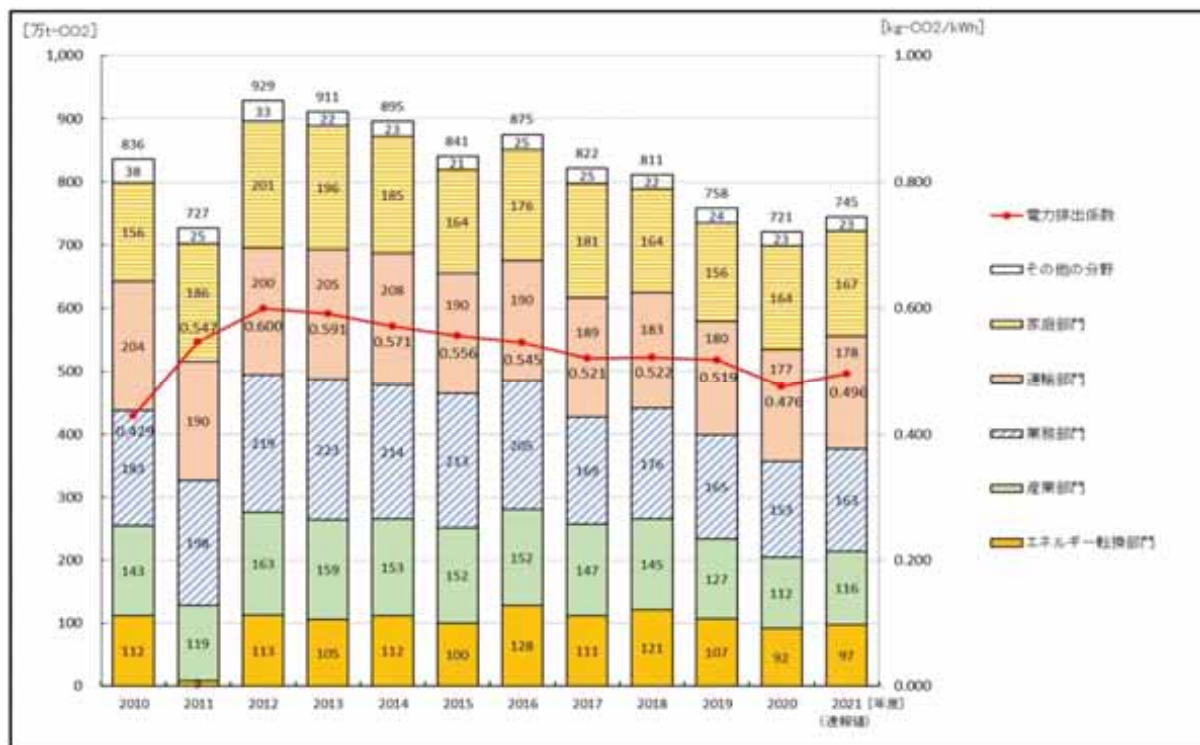


(4) 温室効果ガス

仙台市域における令和2年度（2020年度）確定値の推計結果は、排出量で721万t CO₂となっている。令和元年度（2019年度）と比較して4.9%減少しており、主にエネルギー転換部門及び産業部門からの排出量が減少している。

また、令和3年度（2021年度）の温室効果ガス排出量の速報値の推計値は745万t CO₂となっており、令和2年度（2020年度）と比較して3.3%の増加となっている。

仙台市域の温室効果ガス排出量の推移は、図3-39に示すとおりである。



出典：「仙台市域における温室効果ガス排出量の概要（令和2年度確定値、令和3年度速報値）」
（令和5年8月、仙台市）

図3-39 仙台市域の温室効果ガス排出量の推移

3.2.5 環境の保全等についての配慮が特に必要な施設等

教育施設、病院及び社会福祉施設等は、表3-93(1)～(4)及び図3-40に示すとおりである。

計画地の近傍において、環境の保全について配慮が特に必要な施設としては、計画地内の北側に岩切小学校が、南側に仙台東脳神経外科病院があるほか、区域西側に隣接して既存住宅地が広がっており、これらは第一種住居地域、第二種住居地域に分布している。

表3-93(1) 配慮が必要な施設等（教育施設）

No.	施設名	所在地	
1	岩切東光第二幼稚園	仙台市宮城野区	岩切字高江45
2	上田子幼稚園		田子3-13-36
3	東盛マイトリー幼稚園		新田2-20-38
4	はなぶさ幼稚園		小鶴1-9-20
5	東仙台幼稚園		燕沢1-15-25
6	岩切小学校		岩切字今市東1-2
7	鶴谷東小学校		鶴ヶ谷6-2
8	燕沢小学校		燕沢東3-8-1
9	新田小学校		新田4-30-1
10	田子小学校		田子2-1-1
11	高砂小学校		福田町1-11-1
12	岩切中学校		岩切字三所南23-2
13	東仙台中学校		東仙台2-16-1
14	田子中学校		田子2-12-1
15	西山中学校		燕沢2-21-1
16	東北学院中学校		小鶴字高野123-1
17	東北学院高等学校		小鶴字高野123-1
18	宮城野高等学校		田子2-36-1
19	鶴が丘小学校		仙台市泉区

注) No.は、図3-40に対応する。

出典：「せんだいくらしのマップ」（令和5年8月閲覧、仙台市）

表3-93(2) 配慮が必要な施設等（病院）

No.	施設名	所在地	
20	仙台市医療センター仙台オープン病院（病床数330）	仙台市宮城野区	鶴ヶ谷5-22-1
21	仙台東脳神経外科病院（病床数93）		岩切1-12-1
22	岩切病院（病床数100）		岩切字稲荷21

注) No.は、図3-40に対応する。

出典：「せんだいくらしのマップ」（令和5年8月閲覧、仙台市）、各病院ホームページ（令和5年11月閲覧）

表3-93(3) 配慮が必要な施設等(社会福祉施設(1))

No.	施設名	所在地
23	岩切たんぽぽ保育園	仙台市宮城野区 岩切字三所南88-1
24	鶴ヶ谷はぐくみ保育園	鶴ヶ谷8-19-16
25	福田町保育所	福田町1-12-24
26	田子希望園	田子2-33-28
27	認定こども園 東盛マイトリー幼稚園	新田2-20-38
28	保育所新田こぼと園	新田東2-5-5
29	ひかり保育園	岩切字高江38-1
30	新田すいせんこども園	新田4-13-5
31	福田町あしぐろ保育所	福田町1-15-2
32	新田東すいせんこども園	新田東3-6
33	仙台岩切あおぞら保育園	岩切字三所南1-2
34	アスク小鶴新田保育園	新田東3-12-2
35	にこにこハウス	岩切字洞ノ口43-1
36	ちゃいるどらんど岩切保育園	岩切字洞ノ口40-1
37	ありすの国こども園	岩切字洞ノ口103
38	ちゃいるどらんど岩切駅前保育園	岩切字洞ノ口180-5
39	岩切どろんこ保育園	岩切分台2-12-10
40	ちいさなこども園	新田東1-8-4
41	保育園レインボーナーサリー田子館	田子2-10-2
42	ニューフィールド保育園	新田東2-1-20
43	キッズフィールド新田東園	新田東1-18-1
44	つばめ保育園	燕沢東3-9-25
45	認定こども園 東仙台幼稚園	燕沢1-15-25
46	しあわせいっぱい保育園 新田	新田東3丁目3-4
47	岩切児童館	岩切字今市東91-1
48	鶴ヶ谷東マイスクール児童館	鶴ヶ谷6-2
49	燕沢児童館	燕沢東3-6-1
50	新田児童館	新田2-22-38
51	田子児童館	田子2-4-25
52	有料老人ホームサニーライフ仙台宮城野	岩切分台2-11-20
53	メディケアホーム岩切	岩切分台3-3-7
54	そんぽの家仙台岩切	岩切字青津目129-1
55	岩切東老人憩の家	岩切字青津目137-8
56	岩切デイサービスセンターかむりの里	岩切字東河原352-3
57	ケアハウスひまわり	岩切字東河原352-3
58	かむりの里翔裕園	岩切字東河原352-3
59	岩切老人憩の家	岩切字三所南88-2
60	かむり学園	岩切字三所南1-1
61	コジーケアホーム	岩切字稲荷14
62	岩切地域包括支援センター	岩切字稲荷14
63	ケアハウスインいわきり	岩切字稲荷24-1
64	住宅型有料老人ホームピュアライフ京原	鶴ヶ谷字京原13-1
65	エバーグリーン・ツルガヤ	鶴ヶ谷字館下35-1
66	認定こども園 東仙台幼稚園	燕沢1-15-25
67	デイサービス花だん	岩切2-11-5
68	愛の家グループホーム仙台岩切	岩切字稲荷193-2
69	愛の家デイサービスセンター	岩切字稲荷193-2
70	杜の家みやぎ	岩切字余目11

注) No.は、図3-40に対応する。

出典：「せんだいくらしのマップ」(令和5年8月閲覧、仙台市)

表3-93(4) 配慮が必要な施設等（社会福祉施設(2)）

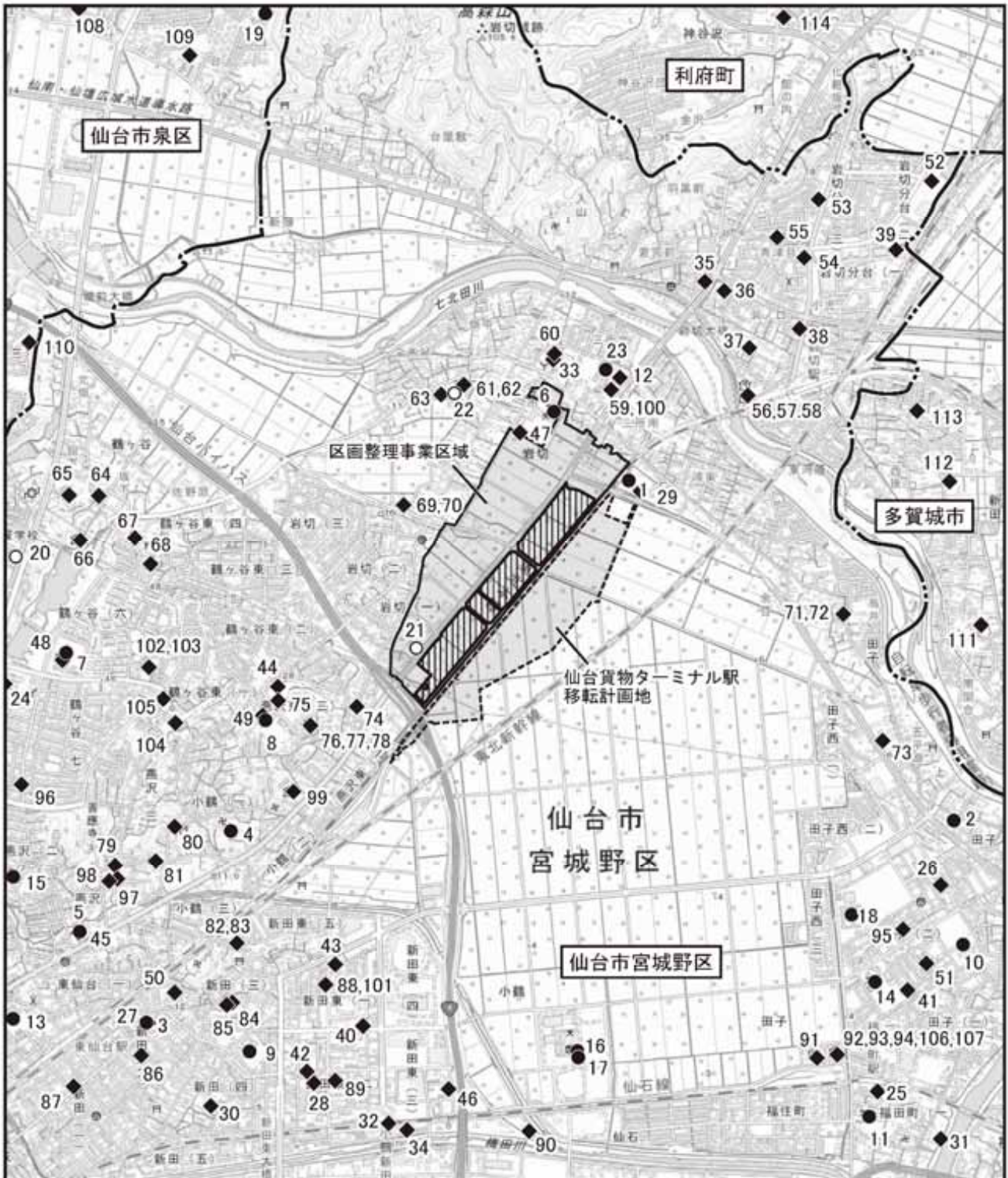
No.	施設名	所在地
71	杜の家みやぎ	仙台市宮城野区 岩切字余目11
72	グループホームみやぎの杜	岩切字余目11
73	グループホームデイジー	田子字田子西115-1
74	グループホームあったかいご燕沢東	燕沢東3-20-32
75	燕沢老人憩の家	燕沢東3-9-2
76	燕沢デイサービスセンター	燕沢東3-8-10
77	燕沢地域包括支援センター	燕沢東3-8-10
78	パルシア	燕沢東3-8-10
79	グループホームかりんの家	燕沢2-1-50
80	ハートライフせんだい創働舎	小鶴1-3-10
81	わ・は・わ宮城野	燕沢3-1-10
82	アサヒサンククリーン株式会社東仙台デイサービスセンター	新田3-28-20
83	東仙台地域包括支援センター	新田3-28-20
84	グループホーム東仙台	新田3-15-21
85	コミュニティホーム東仙台新田	新田3-15-20
86	新田老人憩の家	新田2-11-30
87	旅ゆかば	新田1-20-3
88	デイサービスわかなの杜	新田東1-2-5
89	ツクイ・サンシャイン仙台	新田東2-12-7
90	仙台市小鶴老人福祉センター	仙石2-1
91	田子のまち	田子字富里153
92	福田町デイサービスセンターⅠ	田子字富里223
93	福田町地域包括支援センター	田子字富里223
94	宮城野の里	田子字富里223
95	デイサービスみやぎの杜	仙台市泉区 田子2-27-22
96	デイサービスあったかの家鶴ヶ谷	鶴ヶ谷8-2-16
97	住宅型有料老人ホーム萩の家	燕沢1-22-70
98	愛の家グループホーム仙台燕沢	多賀城市 燕沢1-22-73
99	いこいの郷・燕沢	燕沢東2-1-35
100	仙台市岩切保健センター	岩切字三所南88-2
101	ショートステイわかなの杜	新田東1-2-5
102	ベネッセデイサービスセンター鶴ヶ谷	鶴ヶ谷6-7-1
103	まどか鶴ヶ谷	鶴ヶ谷6-7-1
104	特定施設ピーコムライフ鶴ヶ谷	鶴ヶ谷東1-1-5
105	鶴ヶ谷東老人憩の家	鶴ヶ谷東1-1-50
106	社会福祉法人宮城厚生福祉会福田町デイサービスセンターⅡ	田子字富里223
107	短期入所生活介護施設福田町	田子字富里223
108	シンフォニー松森	松森字内町54-21
109	ニチイケアセンター仙台松森	松森字台95-1
110	すまいる作業所	南光台東3-11-35
111	多賀城市福祉工房のぞみ園	新田字南安楽寺87
112	多賀城バンビの丘こども園	新田字北1-3
113	きらり保育園多賀城	新田字後8-2
114	スマイルキッズりふ園	神谷沢字塚元73-5

注) No.は、図3-40に対応する。

出典：「せんだいくらしのマップ」（令和5年8月閲覧、仙台市）

「保育施設一欄」（令和5年8月10日更新、多賀城市）

「認可保育施設一覧」（令和5年3月28日更新、利府町）



凡例

- | | |
|---|--|
|  計画地 |  教育施設(1~19) |
|  市町界 |  病院(20~22) |
|  区界 |  社会福祉施設(23~114) |

注) 図中の番号は、表3-93(1)~(4)に対応する。

出典: 「せんだいぐらしのマップ」(令和5年8月閲覧、仙台市)、「保育施設一覧」(令和5年8月10日更新、多賀城市)、「認可保育施設一覧」(令和5年3月28日更新、利府町)

図3-40 配慮が特に必要な施設等の位置

S=1/25,000
0 200 400 600 800 1,000m

